平成３１年度全国学力・学習状況調査結果の考察

苫　小　牧　市

公　表

令和元年８月２３日

苫小牧市教育委員会　教育部　指導室

目　次

〇平成３１年度全国学力・学習状況調査の苫小牧市における調査結果――――――――――１
・調査の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１
・小学校国語科・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２
・小学校算数科・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３
・中学校国語科・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４
・中学校数学科・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・５
・中学校英語科・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・６

〇平成３１年度全国学力・学習状況調査児童質問紙（小学６年児童）調査の結果と考察――――７
・学習に対する興味・関心等（国語）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・７
・学習に対する興味・関心等（算数）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・９
・規範意識・自己有用感・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２
・生活習慣・学習習慣・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１４
・地域や社会、外国の文化への関心・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１７
・学校生活・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１８
・調査問題の解答時間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２１

〇平成３１年度全国学力・学習状況調査生徒質問紙（中学３年生徒）調査の結果と考察――――２２
・学習に関する興味・関心等（国語）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２２
・学習に関する興味・関心等（数学）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２４
・学習に関する興味・関心等（英語）・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２５
・規範意識・自己有用感・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２８
・生活習慣・学習習慣・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３０
・地域や社会、外国の文化への関心・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３３
・学校生活・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３４
・調査問題の解答時間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３８

〇平成３１年度全国学力・学習状況調査学校質問紙調査の結果と考察――――――――――３９
・学力向上に向けた取組・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３９
・家庭学習及び全国学力状況調査の結果の活用・・・・・・・・・・・・・・・４０

〇平成３１年度全国学力・学習状況調査の概況　～正答数分布グラフ～――――――――――４１
・小学校国語・算数・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４１
・中学校国語・数学・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４２
・中学校英語・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４３

平成３１年度全国学力・学習状況調査の苫小牧市における調査結果

令和元年８月２３日　苫小牧市教育委員会

・平均正答率については、文部科学省が「序列化や過度な競争を助長する」「細かい桁の違いが学力の実質的な違いを示すものではない」として、一昨年度から四捨五入した整数値で公表しております。
・これまで国語と算数・数学については、A 問題（主として知識に関する問題）、B 問題（主として活用に関する問題）に分かれて実施されていましたが、平成３１年度調査より知識・活用を一体的に問う調査問題と変更されました。そのため、全国平均との比較（平均正答率）については今年度分のみの結果となります。参考として、H30 年度までの経年変化についてのグラフを示しております。

調査の概要

１　実施日
　平成３１年４月１８日（木）
２　調査対象
（１）小学校第６学年
（２）中学校第３学年
３　対象学校数及び児童生徒数

	小学校		中学校	
	児童数	学校数	生徒数	学校数
苫小牧市	１，４３１	２４	１，４１２	１６
北海道	３８，８３７	１，０００	３７，８５９	５８５

４　調査事項
（１）教科に関する調査
　小学校…国語及び算数の２教科
　中学校…国語、数学及び英語の３教科
（２）生活習慣、学習環境等に関する質問紙調査
　①児童生徒に対する調査（学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等）
　②学校に対する調査（指導方法、教育条件の整備等）

苫小牧市の小・中学校における全体的な傾向

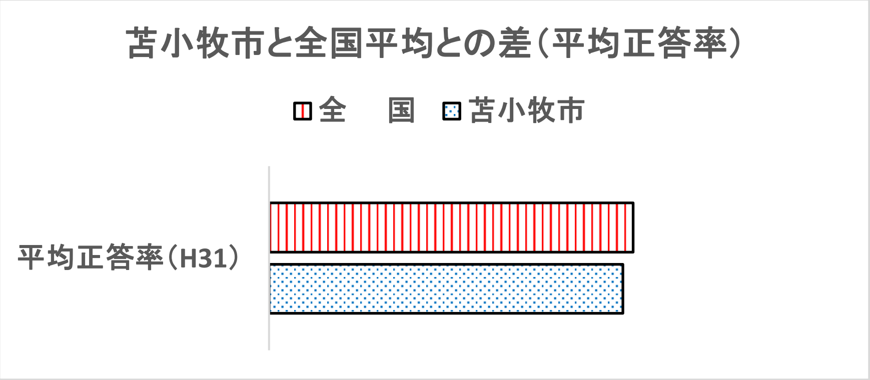
☆小・中学校ともに、国語の平均正答率が全国平均と２％程度の差となっています。
☆児童質問紙から、小学校では「話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりする」と回答した割合が全国平均を上回っています。また、生徒質問紙から、中学校では「互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている」と回答した割合が全国平均を上回っています。主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善が進んでいる傾向がみられます。
☆学校質問紙から、小中連携教育に関する取組状況が、全国平均を大きく上回っています。
☆小・中学校ともに、「いじめはどんな理由があってもいけないことだ」と回答した割合が、全国平均を上回っています。
★小・中学校ともに、算数・数学の正答率が全国平均を３％以上下回っています。
・児童生徒質問紙から、小・中学校ともに家庭で勉強をする時間について、「全くしない」と回答した割合が年々少なくなってきています。一方で、「３時間以上する」と回答した割合が全国平均を下回っています。

小学校　教科に関する調査結果

国語（小学校）　　平成３１年度結果

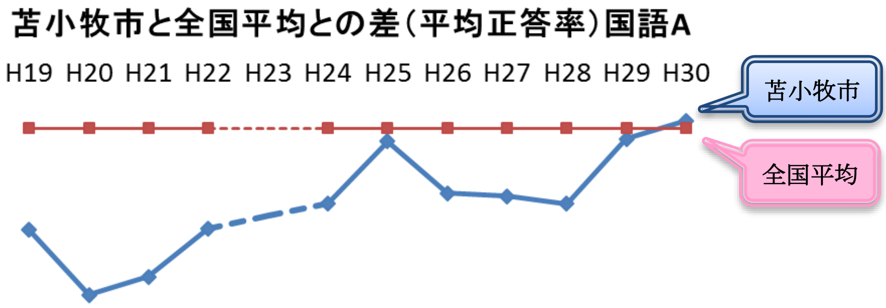
	平均正答数（問／出題数）	平均正答率（％）
苫小牧市	８．７／１４	６２
北 海 道	８．８／１４	６３
全　　国	８．９／１４	６３．８

平均正答数
出題数に対する正答数の平均値
平均正答率
問題数を１００％とした時の正答数の割合

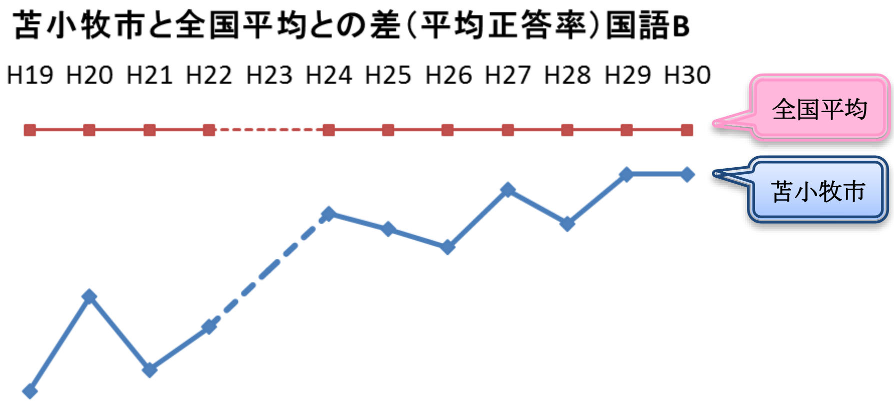


分析と考察
○「話すこと・聞くこと」では、話し手の意図を捉えながら聞き、自分の考えをまとめることについて、全国平均を上回っています。
●「書くこと」では、目的や意図に応じて自分の考えの理由を明確にし、まとめて書くことについて、全国平均を下回っており課題がみられます。
●「読むこと」では、目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながら読むことについて、やや下回っており課題がみられます。

【参考資料】H19～H30「苫小牧市と全国平均との差（平均正答率）」国語Ａ・Ｂ



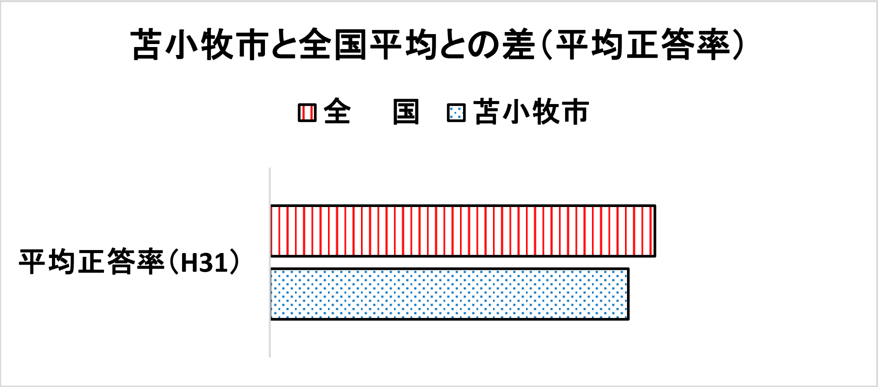
・平成２２年度は抽出調査です。
・平成２３年度は、東日本大震災のため、全国一斉の調査を行っておりません。北海道は実施しましたが、全国の平均値がないため比較ができません。



算数（小学校）　　平成３１年度結果

	平均正答数（問/出題数）	平均正答率（%）
苫小牧市	８．６／１４	６２
北 海 道	９．０／１４	６４
全　　国	９．３／１４	６６．６

<u>平均正答数</u>
出題数に対する正答数の平均値
<u>平均正答率</u>
問題数を１００%とした時の正答数の割合

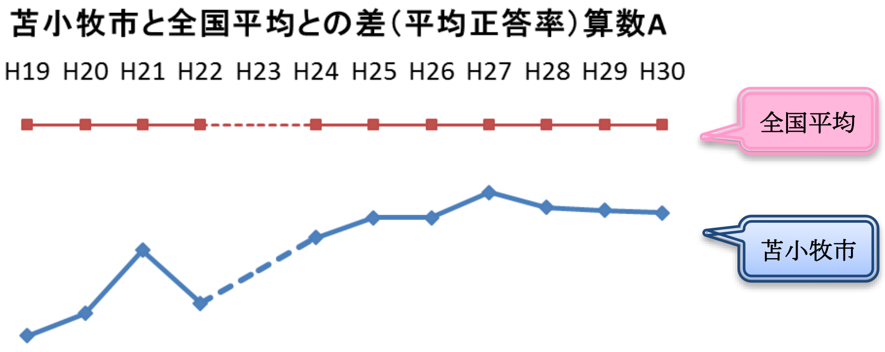


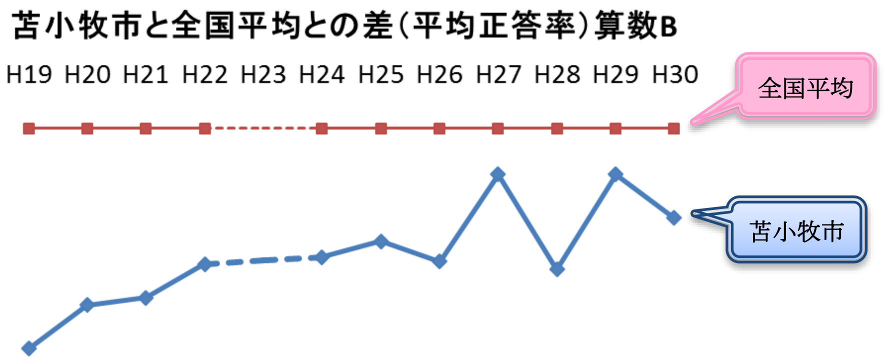
分析と考察

●「数と計算」では、全ての設問で全国平均を下回っています。特に、除法に関する問題について正答率が低く課題がみられます。

●どの領域においても、記述式の設問で全国平均を下回っています。図形の面積の求め方や除法に関して成り立つ性質について記述することについて、無回答率が高く課題がみられます。

【参考資料】H19～H30「苫小牧市と全国平均との差（平均正答率）」算数Ａ・Ｂ



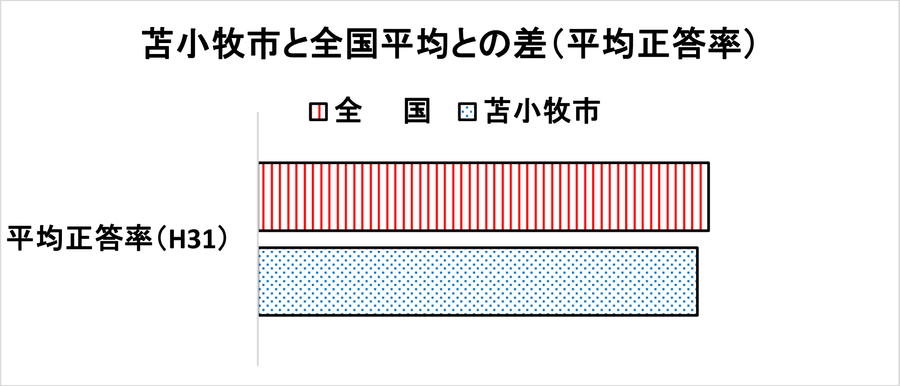


中学校　教科に関する調査結果

国語（中学校）　　平成３１年度結果

	平均正答数（問/出題数）	平均正答率（%）
苫小牧市	７．１／１０	７１
北 海 道	７．２／１０	７２
全　　国	７．３／１０	７２．８

平均正答数
出題数に対する正答数の平均値
平均正答率
問題数を１００％とした時の正答数の割合



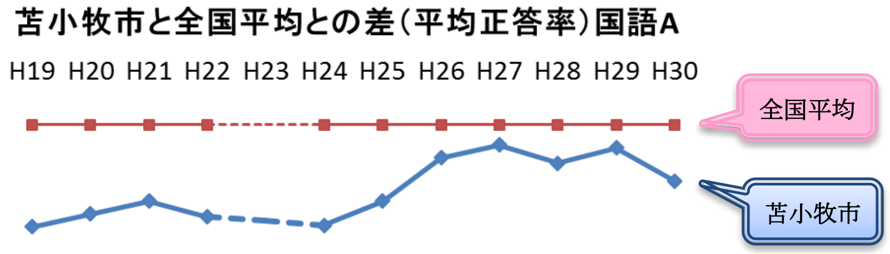
分析と考察

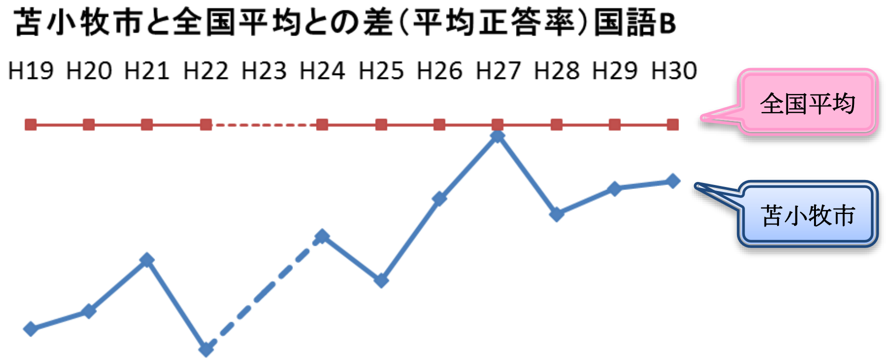
○「話すこと・聞くこと」では、話合いの話題や方向を捉えることについて、全国平均を上回っています。

●「読むこと」では、文章の構成や展開、表現の仕方に関して、根拠を明確にして自分の考えをもつことについて、全国平均を下回っており課題がみられます。

●「書くこと」では、問題文にある情報を用いた意見文を、根拠を明確にして書くことについて全国平均をやや下回っており課題がみられます。

【参考資料】H19～H30「苫小牧市と全国平均との差（平均正答率）」国語Ａ・Ｂ



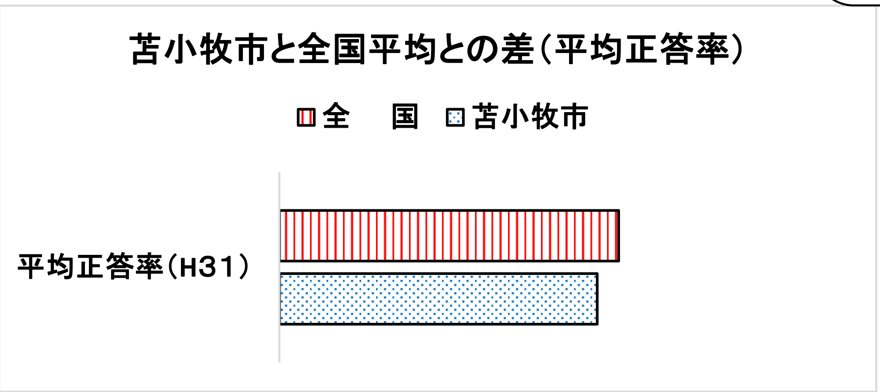


・平成２２年度は抽出調査です。
・平成２３年度は、東日本大震災のため、全国一斉の調査を行っておりません。北海道は実施しましたが、全国の平均値がないため比較ができません。

数学（中学校）　　平成３１年度結果

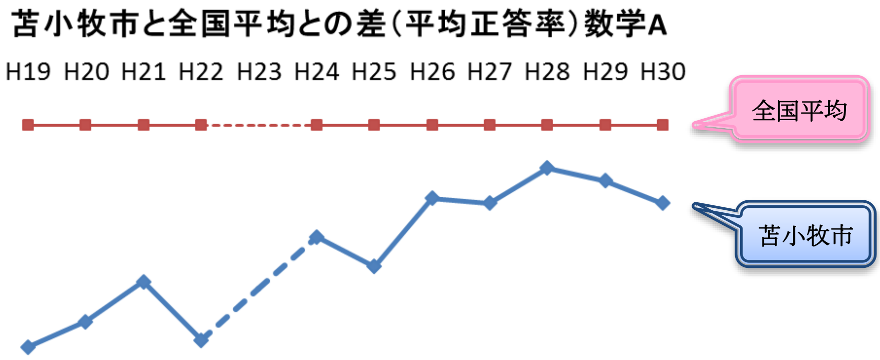
	平均正答数（問／出題数）	平均正答率（%）
苫小牧市	９．０／１６	５６
北 海 道	９．３／１６	５８
全　　国	９．６／１６	５９．８

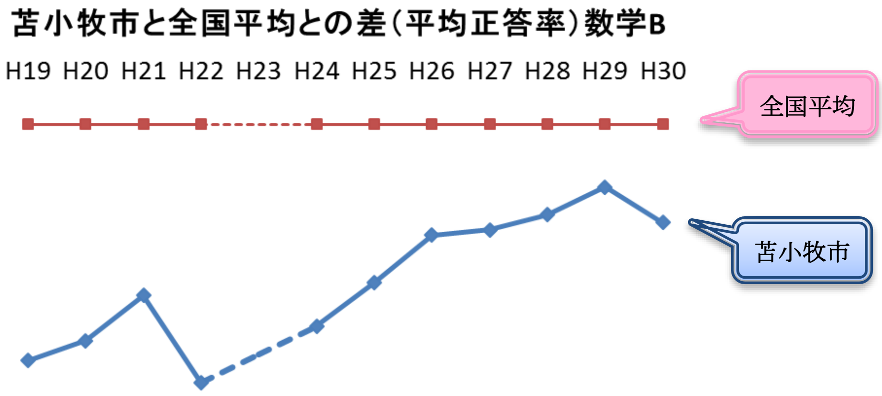
平均正答数
出題数に対する正答数の平均値
平均正答率
問題数を１００％とした時の正答数の割合



分析と考察
・「数と式」では、数の集合と四則計算の可能性についての理解を問う問題で、全国平均を上回っています。一方で、連続する５つの奇数について事柄が成り立つ理由を説明する問題で全国平均を大きく下回っており課題がみられます。
●「図形」では、四角形の性質に関して、結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見いだし、説明することについて、全国平均を大きく下回っており課題がみられます。また、「図形」に限らず、説明を記述することについて、無回答率が高い傾向がみられます。

【参考資料】H19～H30「苫小牧市と全国平均との差（平均正答率）」数学A・B

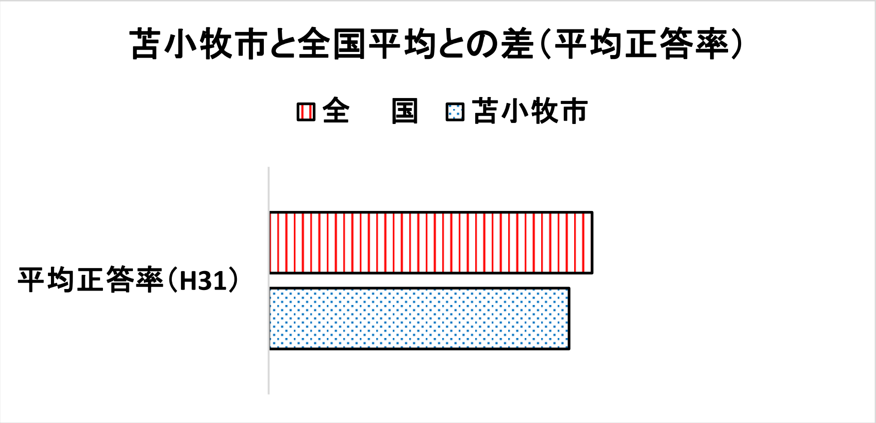




英語（中学校）　　平成３１年度結果

	平均正答数（問／出題数）	平均正答率（％）
苫小牧市	１０．９／２１	５２
北 海 道	１１．４／２１	５４
全　　国	１１．８／２１	５６．０

平均正答数
出題数に対する正答数の平均値
平均正答率
問題数を１００％とした時の正答数の割合



・英語については、「聞くこと」「読むこと」「書くこと」のみの結果となっています。
・英語は平成３１年度から実施されています。

分析と考察

○「聞くこと」では、まとまりのある英語を聞いて、話の概要についての理解を求める問題で、全国平均を上回っています。

・「読むこと」については、日常的な話題に関して、簡単な文で書かれたものの内容を正確に読み取ることについて、全国平均を上回っています。一方で、資料を読んで、その問題に対する自分の考えを書くことについて全国平均を下回っており、無回答率が約３５％と課題がみられます。

平成３１年度全国学力・学習状況調査児童質問紙調査の結果と考察

苫小牧市教育委員会

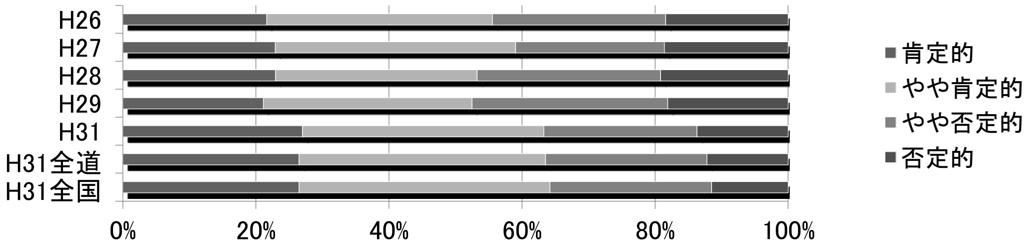
小学６年児童

①：肯定的な回答（している・当てはまる・そう思う）
②：やや肯定的な回答（どちらかといえば、している・当てはまる・そう思う）
③：やや否定的な回答（あまりしていない、どちらかといえば、当てはまらない・そう思わない）
④：否定的な回答（まったくしていない・当てはまらない・そう思わない）

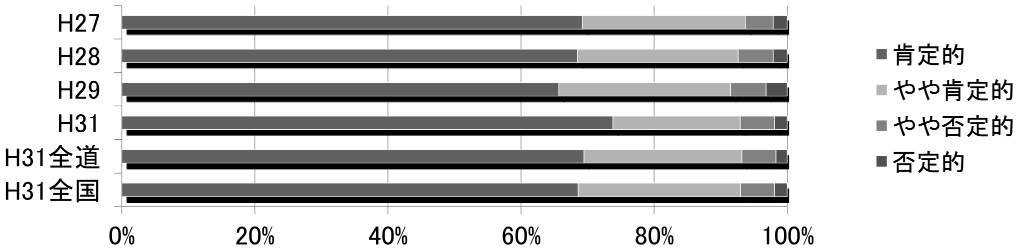
学習に対する興味・関心等（国語）

【考察】「国語の勉強は大切」「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思う」と回答した割合が全国平均を上回っている。「国語の授業で、自分の考えを話したり、書いたりしている」と回答した割合が年々増加しているのは、主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善が進んでいる成果だと考えられる。

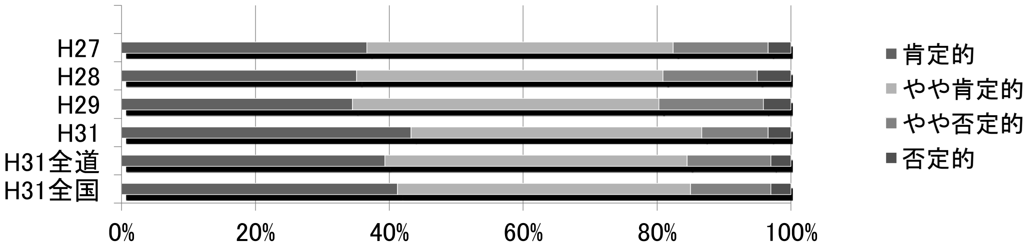
37 国語の勉強は好き。



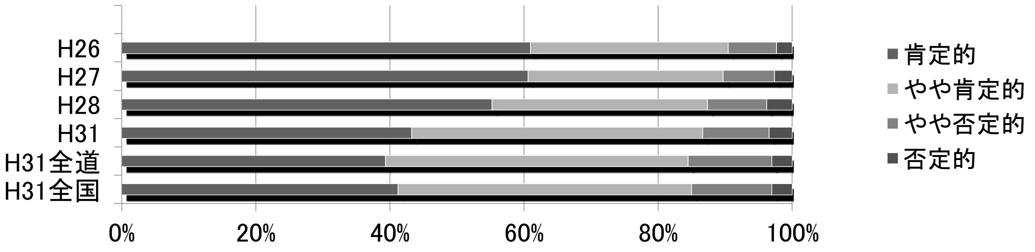
38 国語の勉強は大切だ。



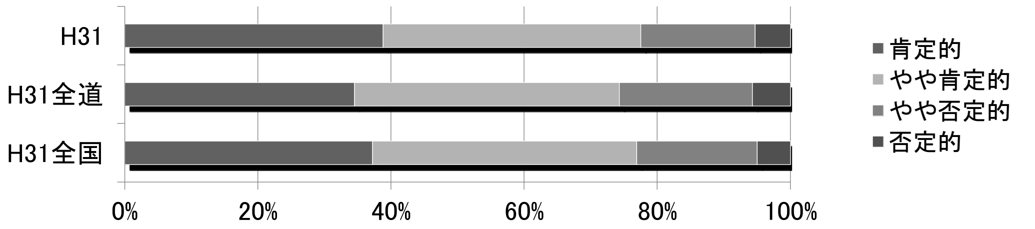
39 国語の授業の内容はよく分かる。



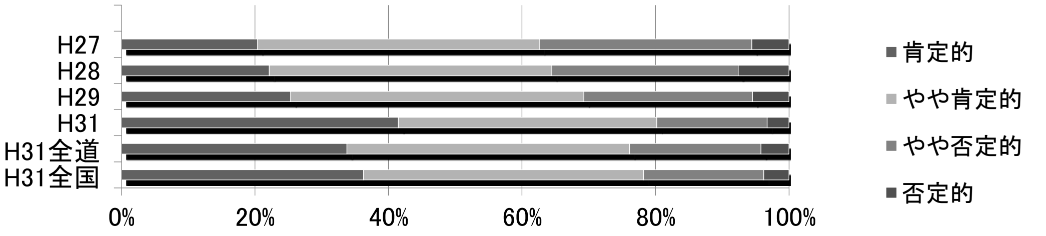
40 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。



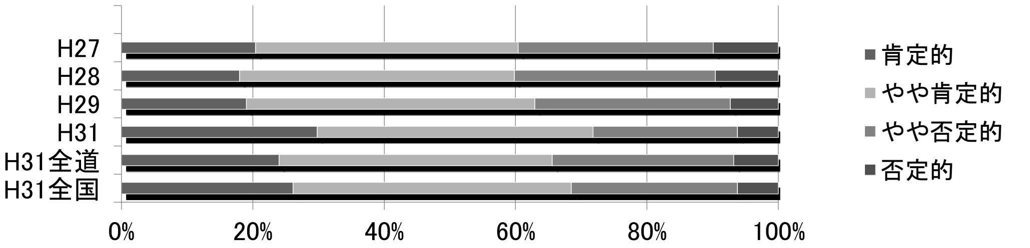
41 国語の授業で学習したことを、普段の生活の中で、話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用しようとしている。（新設問）



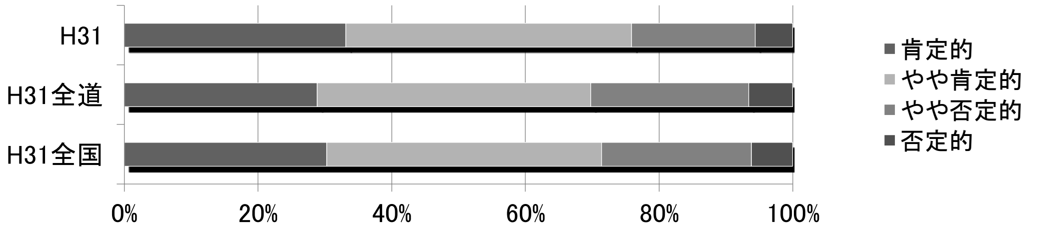
42 国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている。



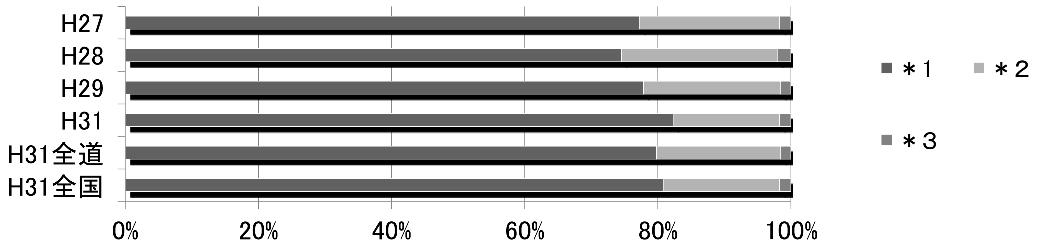
43 国語の授業で意見を発表するとき、うまく伝えるように話の組み立てを工夫している。



44 国語の授業で文章や資料を読むとき，目的に応じて，必要な語や文を見つけたり，文章や段落どうしの関係を考えたりしながら読んでいる。（新設問）



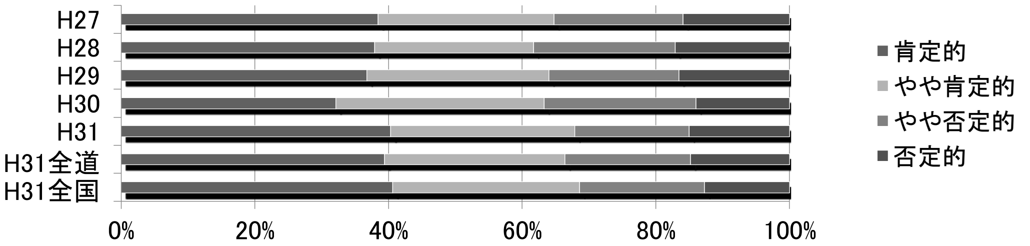
45 今回の国語の問題について、文章を書く問題でどのように回答したか
＊１：全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した。
＊２：書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中で諦めたりしたものがあった。
＊３：書く問題は全く回答しなかった。



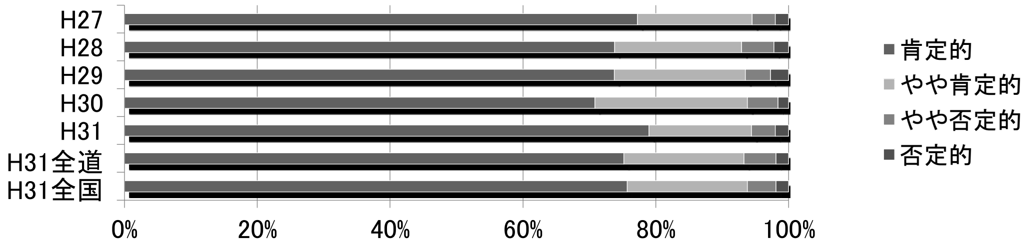
学習に対する興味・関心等（算数）

【考察】「算数の勉強は大切である」と思う割合は９０％を超えているが、「算数の勉強が好き」と回答する割合が約６０％となっている。算数の日常的な授業において、「できた」「わかった」を実感させ、児童自身に達成感を感じさせる振り返りの充実が必要である。

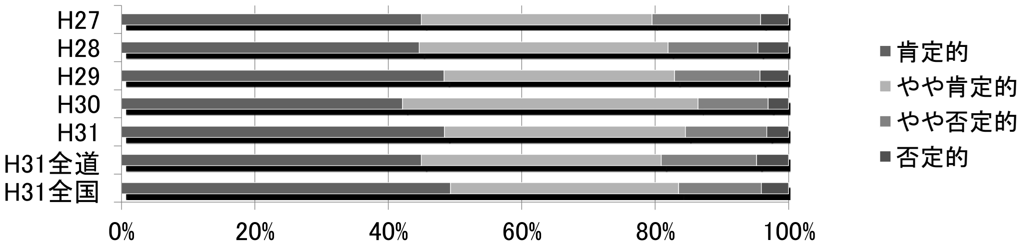
46 算数の勉強は好き。



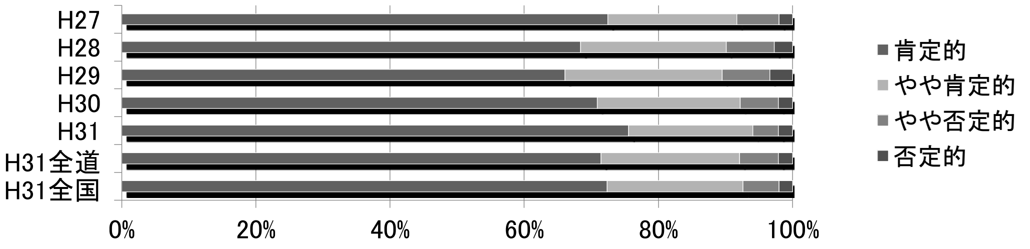
47 算数の勉強は大切だと思う。



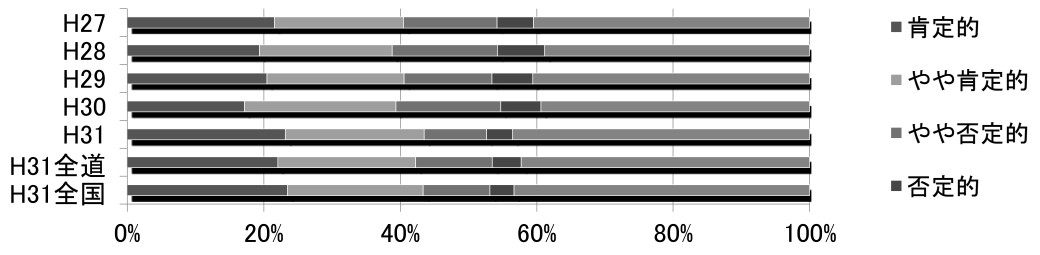
48 算数の授業の内容はよく分かる。



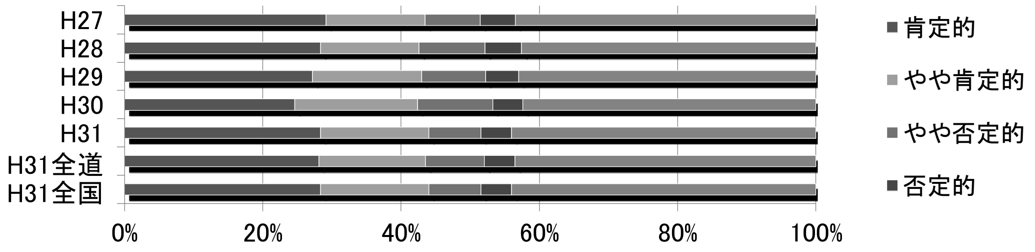
49 算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。



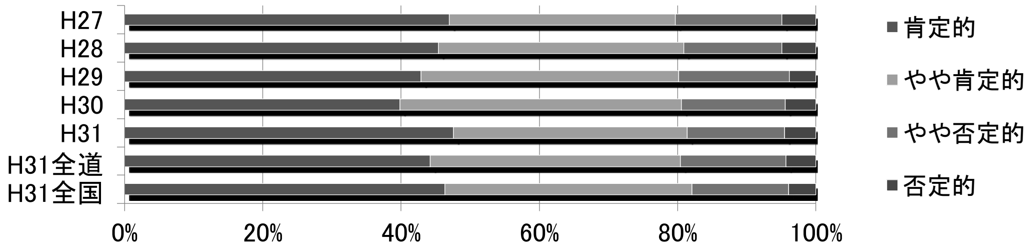
50 算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える。



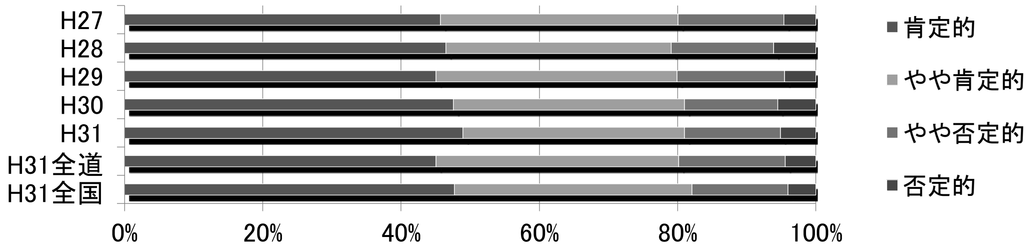
51 算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思う。



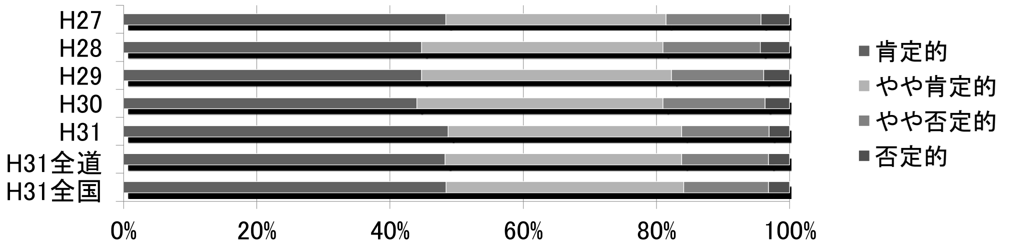
52 算数の問題の解き方がわからないときは、諦めずにいろいろな方法で考える。



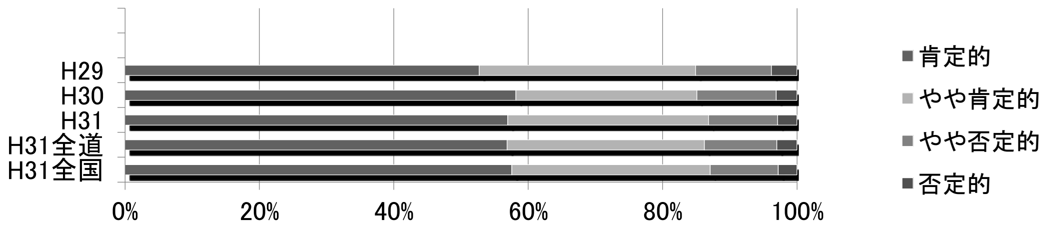
53 算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考える。



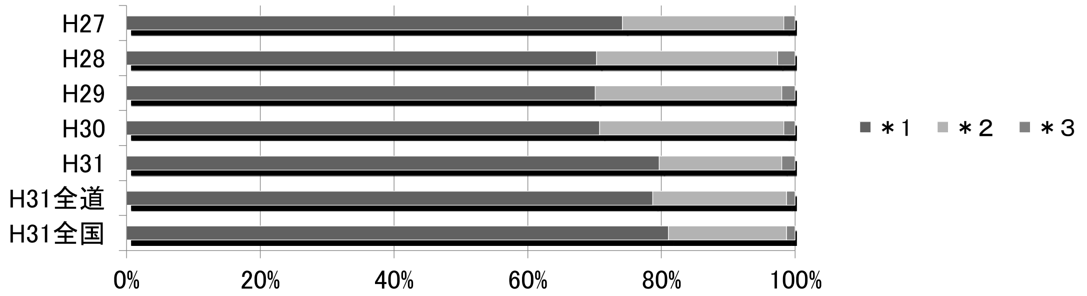
54 算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている。



55 算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている。



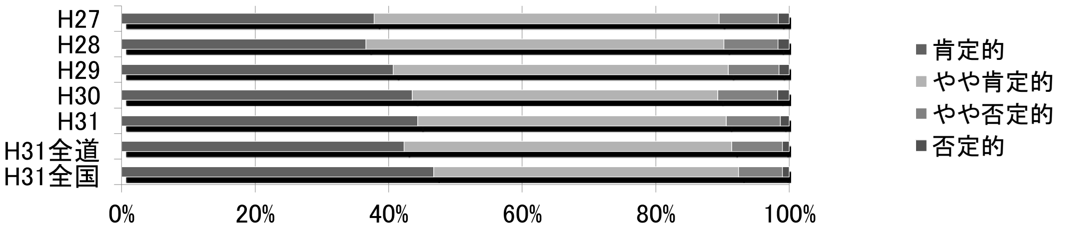
56 今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題でどのように回答したか。
＊１：全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した。
＊２：書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中で諦めたりしたものがあった。
＊３：書く問題は全く回答しなかった。



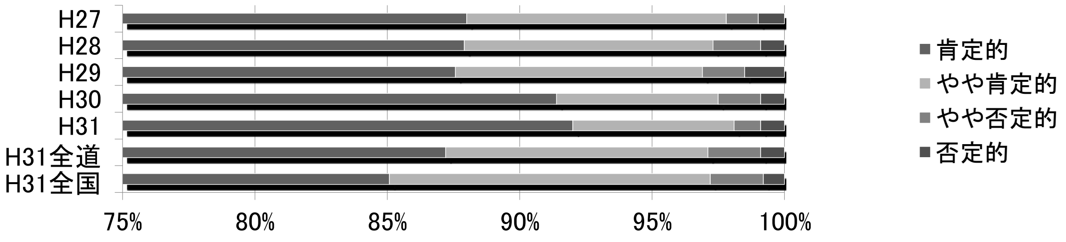
規範意識・自己有用感

【考察】　「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う」と回答した割合が過去最高値となっている。いじめ等の問題に対する意識の向上が表れている。一方で、「将来の夢や目標を持っている」割合が、全国平均を下回っていることから、児童が将来に希望を持てるようなキャリア教育の充実が必要である。

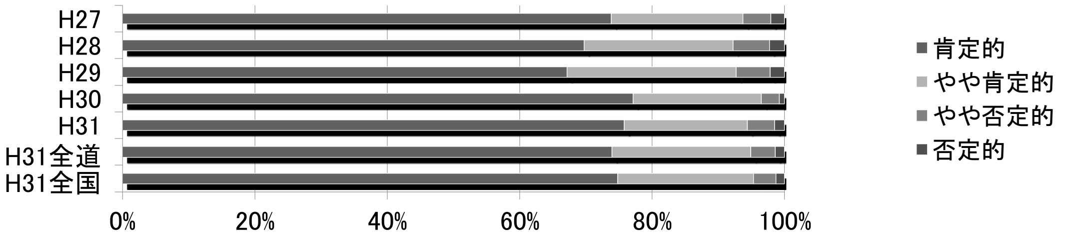
13 学校のきまりを守っている。



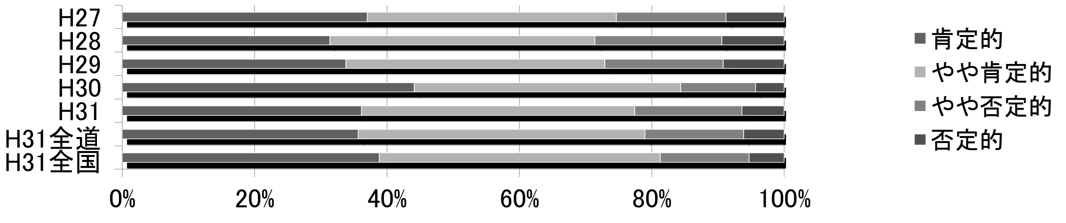
15 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。



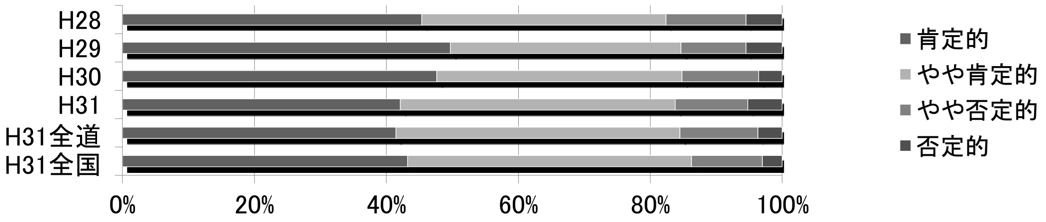
16 人の役に立つ人間になりたいと思う。



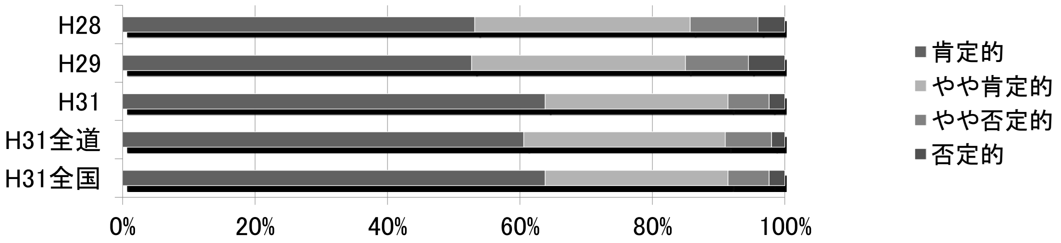
5 自分には、よいところがあると思う。



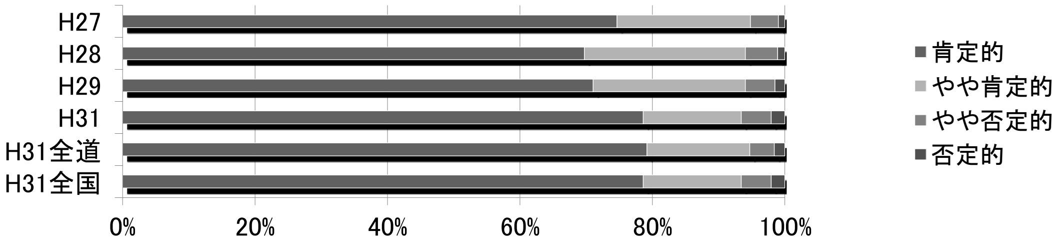
6 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。



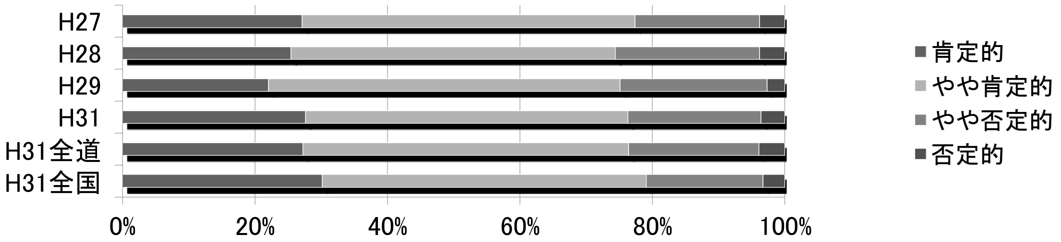
7 先生は，授業やテストで間違えたところや，理解していないところについて，分かるまで教えてくれる。



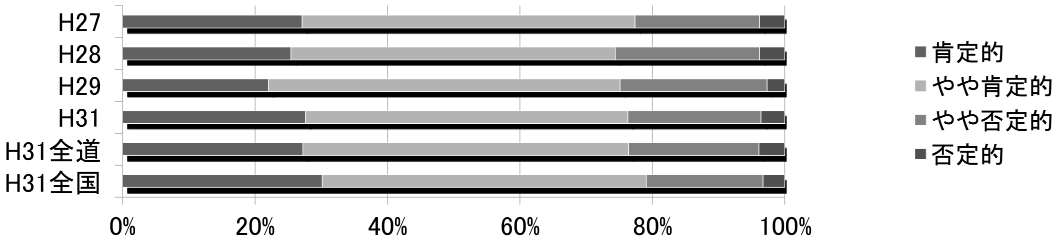
9 ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある。



10 難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している。



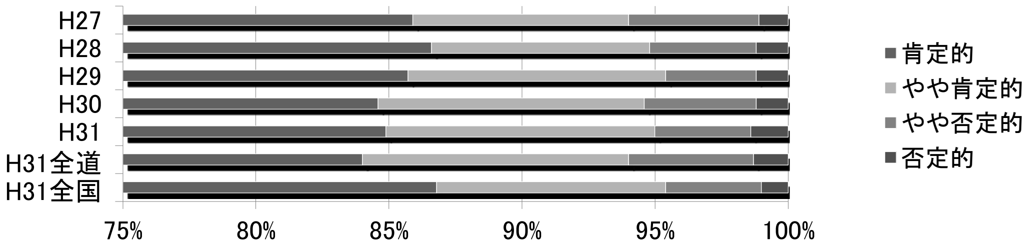
8 将来の夢や目標を持っている。



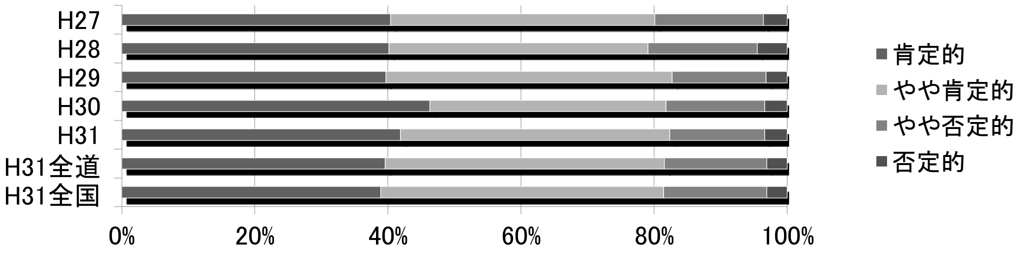
生活習慣・学習習慣

【考察】 規則正しい生活に関する項目において、昨年度を下回っている。ゲームやスマホ等の利用について、家庭への啓発を継続しながら児童の健やかな生活習慣を確保することが必要である。学校図書館や地域の図書館を利用する割合が低い状態であるため、学校において図書館を活用する授業を行うなど、図書館の利用を促進する必要がある。

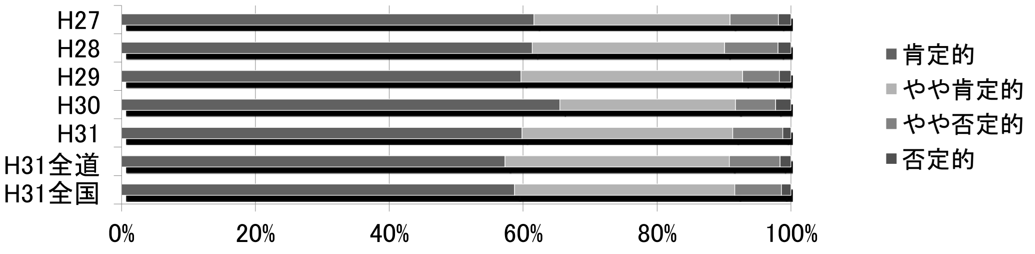
1 朝食を毎日食べている。



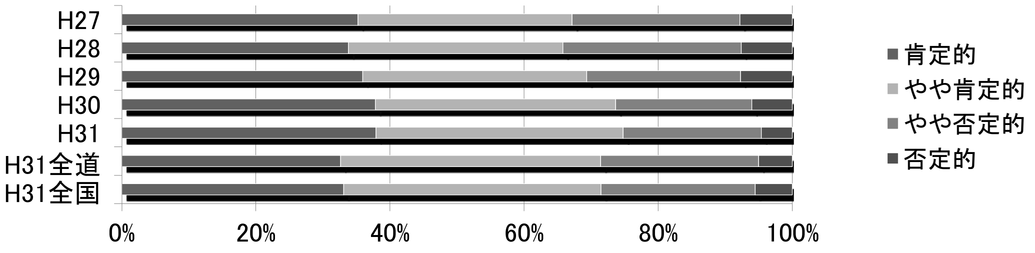
2 毎日、同じくらいの時刻に寝ている。



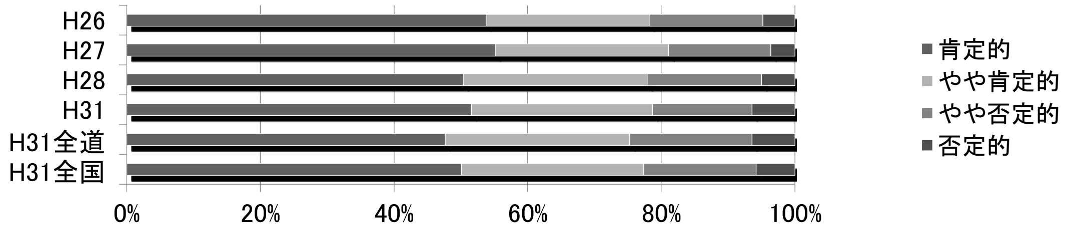
3 毎日、同じくらいの時刻に起きている。



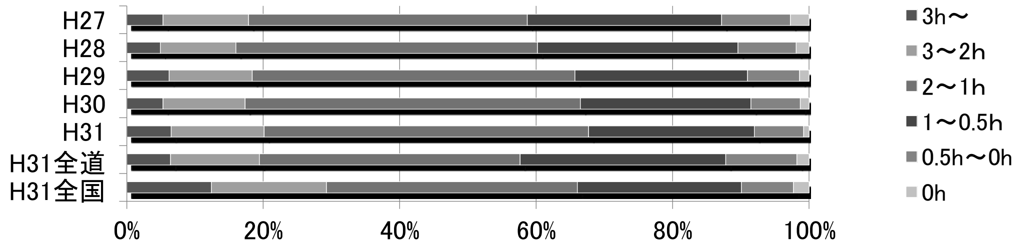
17 家で自分で計画を立てて勉強をしている。



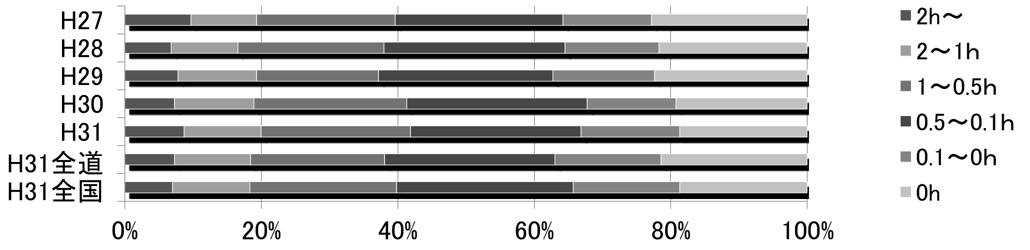
4 家の人と学校での出来事について話をしている。



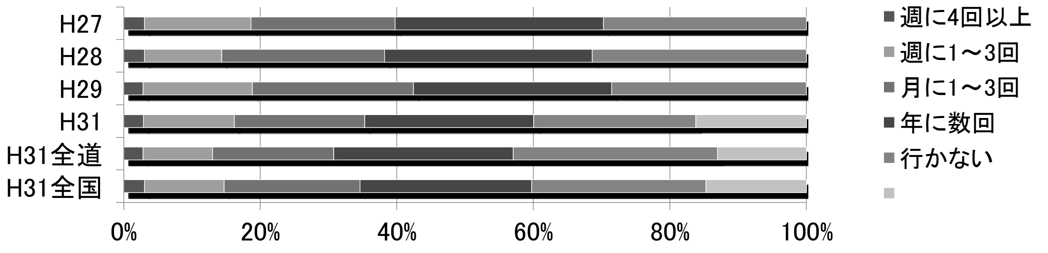
18 普段(月～金）、学校の授業時間以外の１日当たりの学習時間。



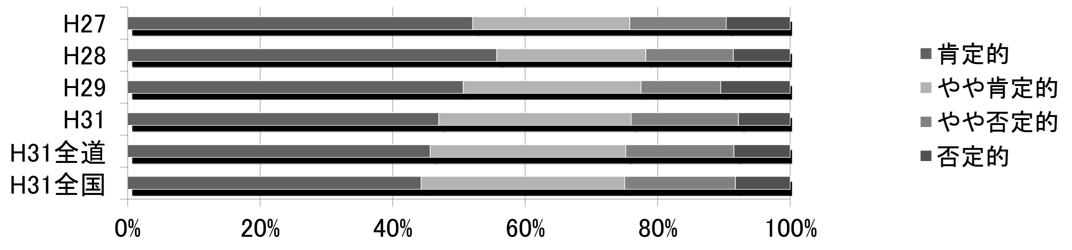
19 普段(月～金）、家や図書館における１日あたりの読書時間。



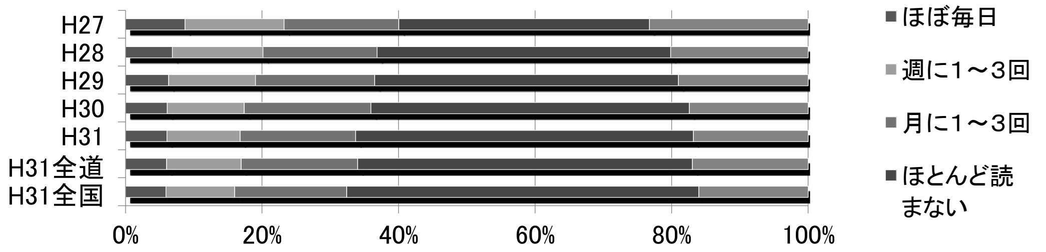
20 本を借りたり読んだりするために学校図書館や地域の図書館を利用する割合。



21 読書は好き。



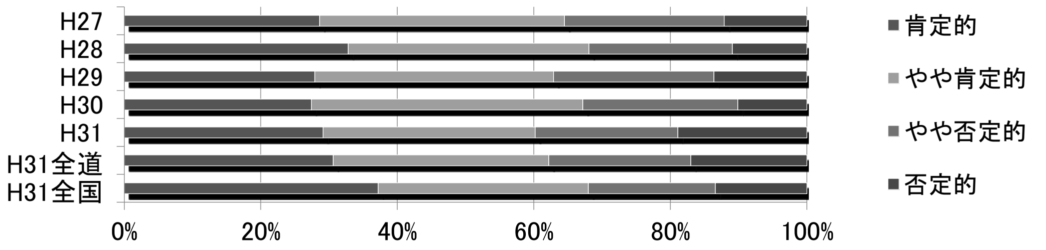
22 新聞を読んでいる。



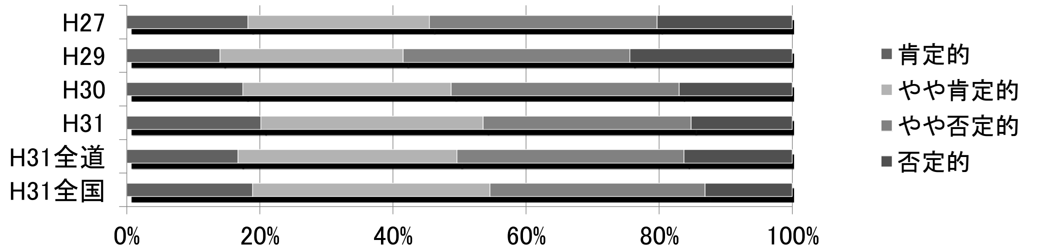
地域や社会、外国の文化への関心

【考察】「地域の行事に参加している」と回答した割合が、全国平均を下回っている。社会科や道徳科、総合的な学習の時間等を通じて、郷土についての教育の充実を図る必要がある。「日本や自分たち住む地域について、外国の人にもっと知ってもらいたい」と回答した割合が、全国平均を上回っている。

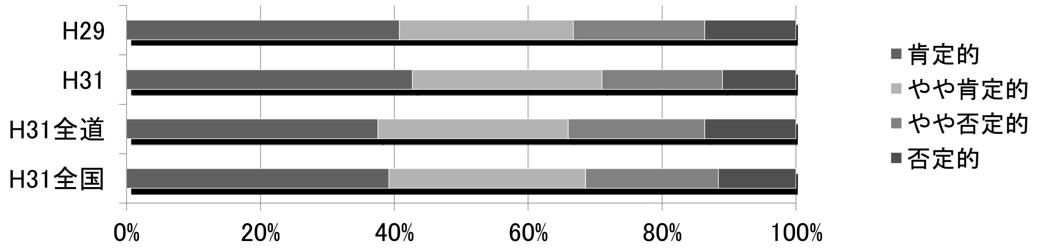
23 地域の行事に参加している。



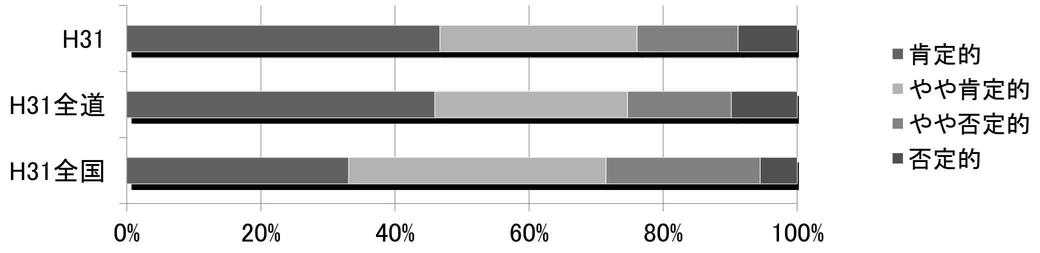
24 地域や社会をよくするために何をすべきか考えたことがある。



25 外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしたい。



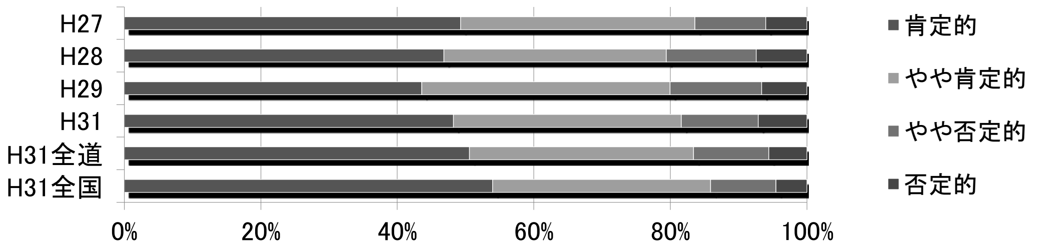
26 日本や自分が住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたい。（新設問）



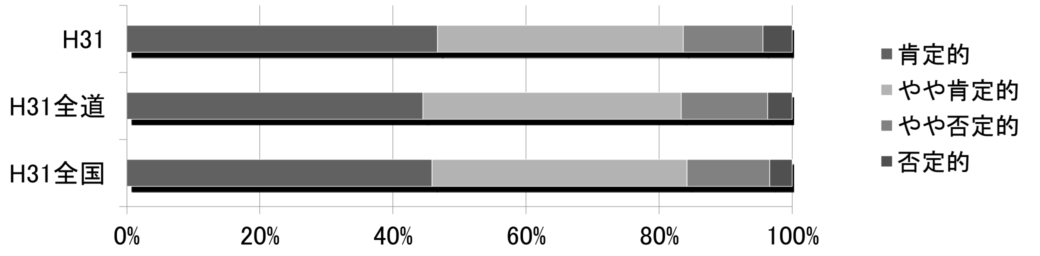
学校生活

【考察】 「学校に行くのは楽しい」と回答した割合が全国平均を下回っている。学校生活の大半を占める日々の授業について、児童一人一人の学びを保証した授業改善を進めることで、学校のよさを実感させる必要がある。「授業でICTを活用した」と回答する割合が全国平均を上回っており、ICTを活用した授業づくりの成果が表れている。

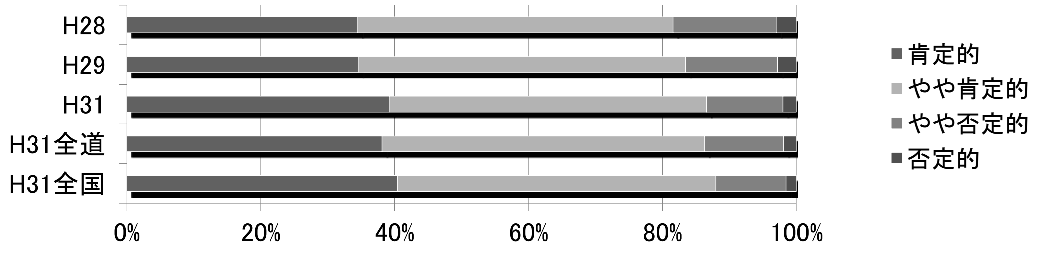
12 学校に行くのは楽しい。



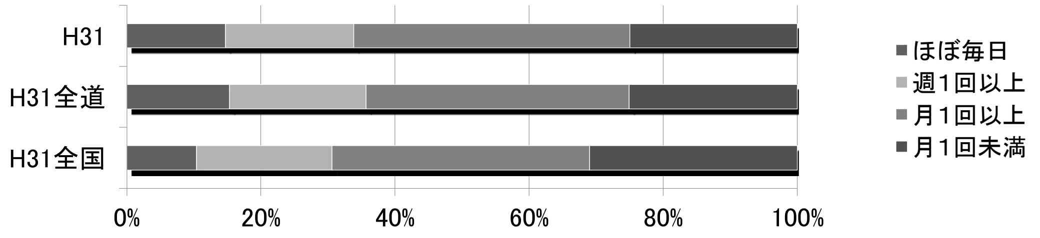
11 学級みんなで話し合って決めたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがある。



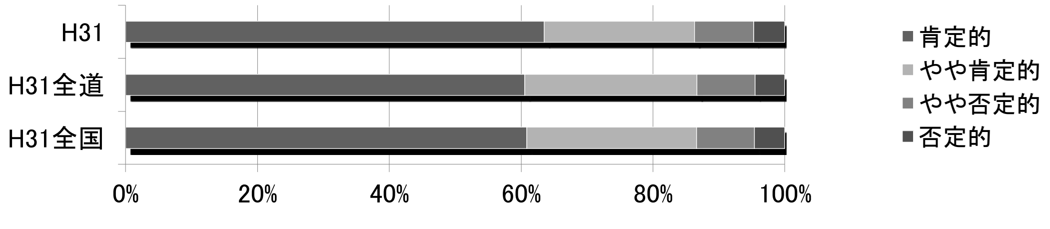
14 人が困っているときは、進んで助けている。



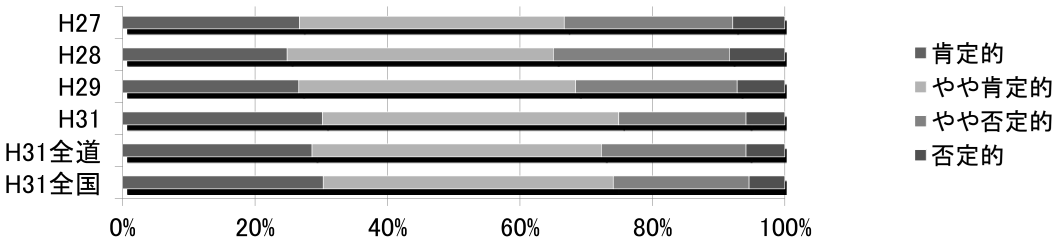
27 ５年生までに受けた授業でコンピューターなどのICTを使用した割合。（新設問）



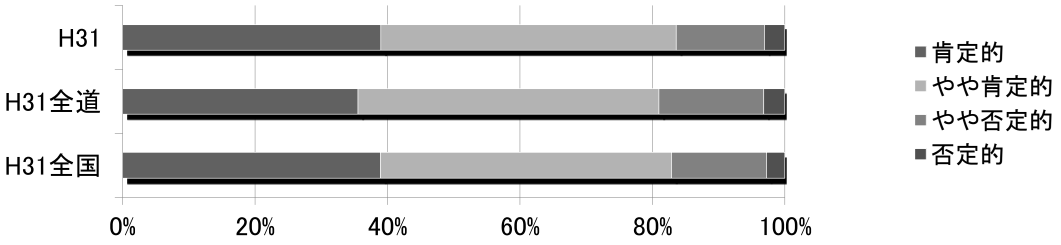
28 授業でICTをもっと活用したい。（新設問）



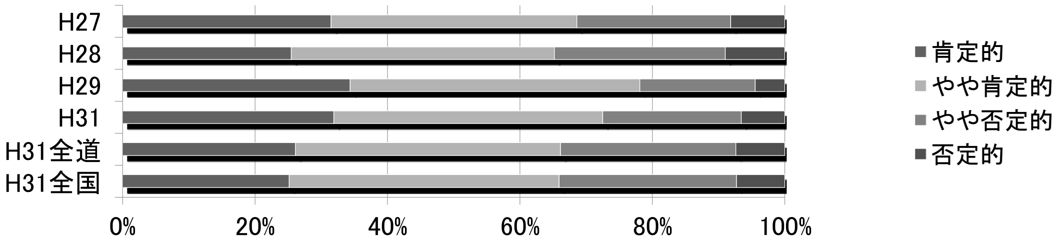
29 学級の友達との間で、話し合う活動を通じて、考えを深めたり広げたりすることができている。



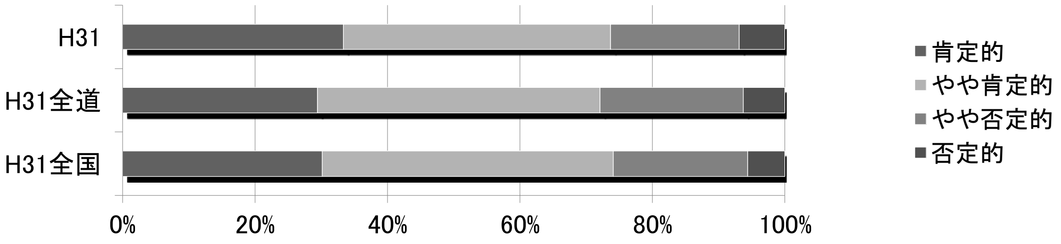
30 授業で学んだことを、ほかの学習に生かしている。（新設問）



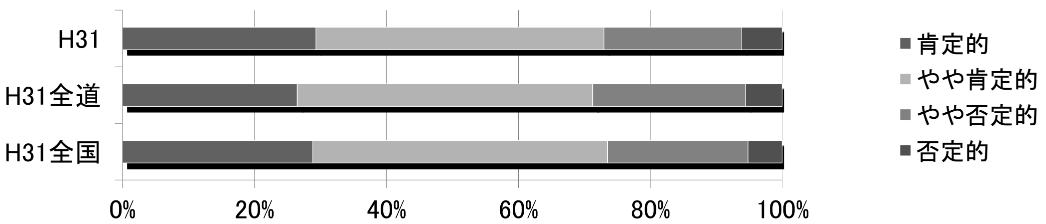
31 「総合的な学習の時間」に、自分で課題を立て、情報を整理して発表するなどをしている。



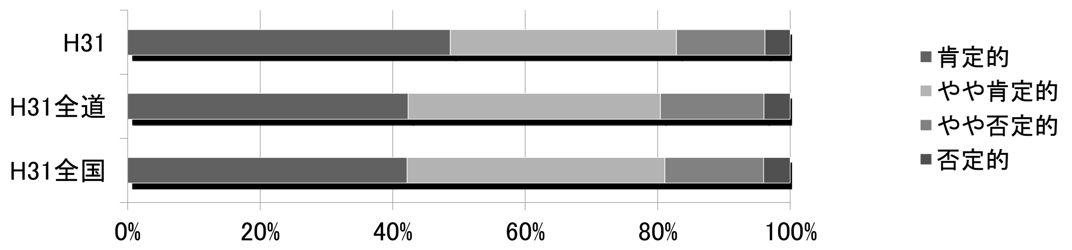
32 学級では、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思う。（新設問）



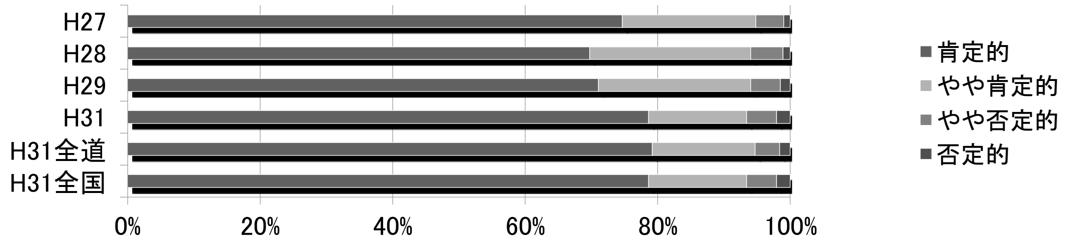
33 学級活動の話し合いを生かして、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる。（新設問）



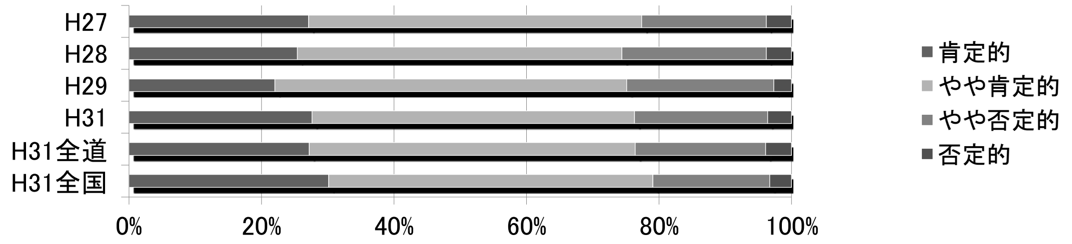
34 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいる。（新設問）



35 ５年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた。

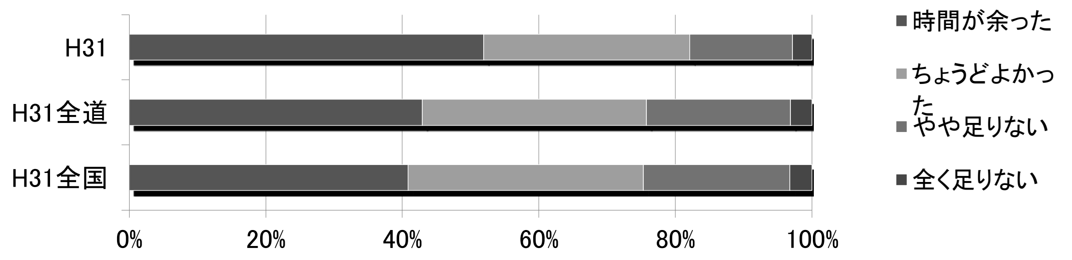


56 ５年生までに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していた。

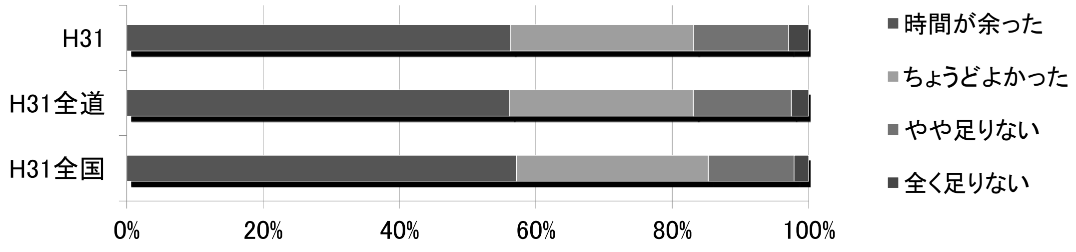


調査問題の解答時間

57 調査問題（国語）の解答時間は十分だった。



58 調査問題（算数）の解答時間は十分だった。



平成３１年度全国学力・学習状況調査生徒質問紙調査の結果と考察

苫小牧市教育委員会

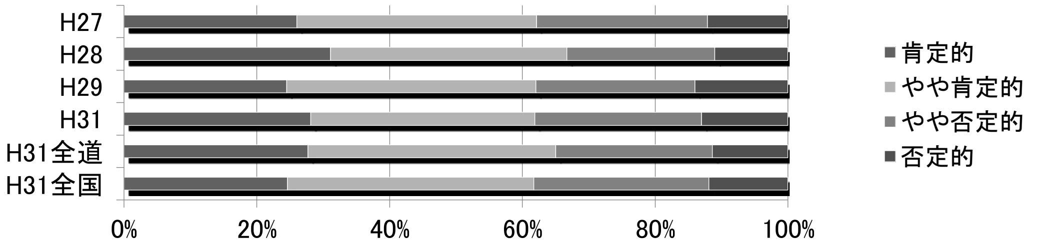
中学３年生徒

①：肯定的な回答（している・当てはまる・そう思う）
②：やや肯定的な回答（どちらかといえば、している・当てはまる・そう思う）
③：やや否定的な回答（あまりしていない、どちらかといえば、当てはまらない・そう思わない）
④：否定的な回答（まったくしていない・当てはまらない・そう思わない）

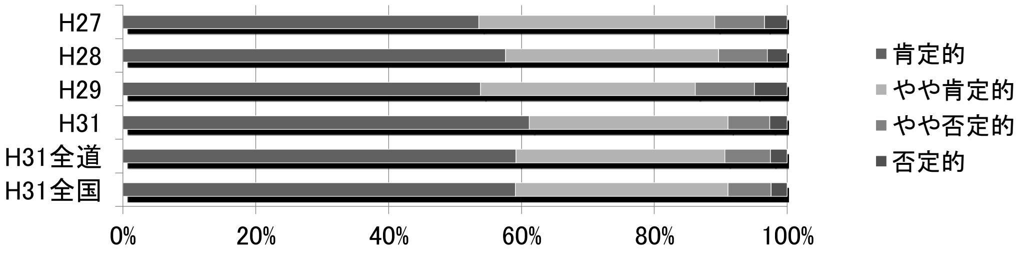
学習に対する興味・関心等（国語）

【考察】「国語の勉強は大切」「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役立つと思う」と回答した割合が全国平均を上回っている。「国語の授業で自分の考えを話したり、書いたりしている」と回答した割合が高まっており、主体的・対話的で深い学びに向けた授業改善が進んでいることが分かる。

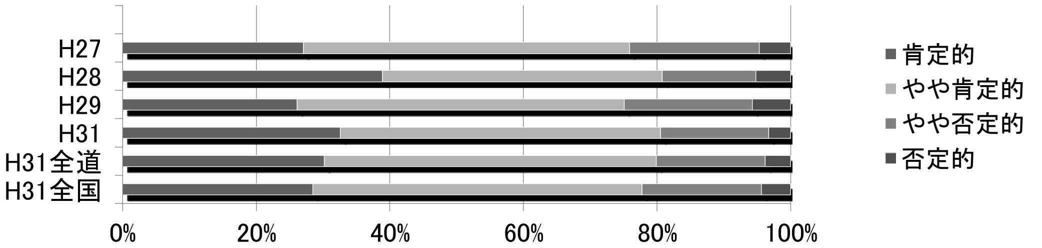
40 国語の勉強は好き。



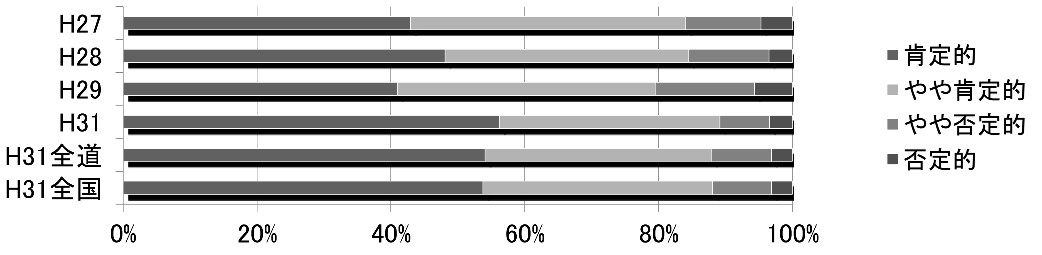
41 国語の勉強は大切だ。



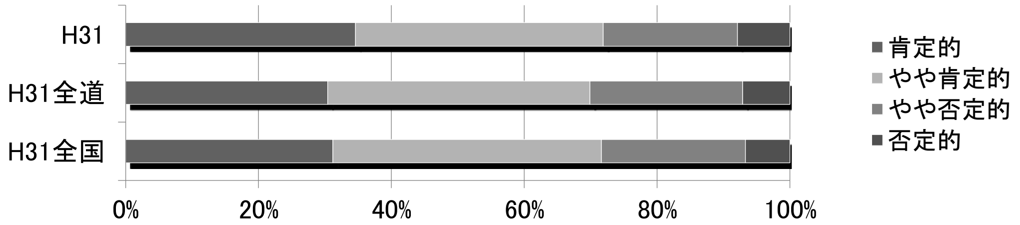
42 国語の授業の内容はよく分かる。



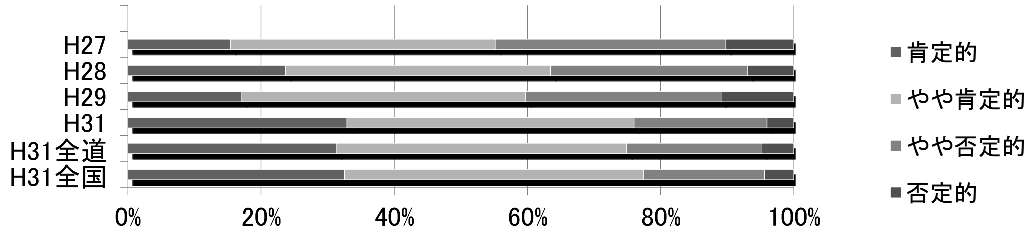
43 国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。



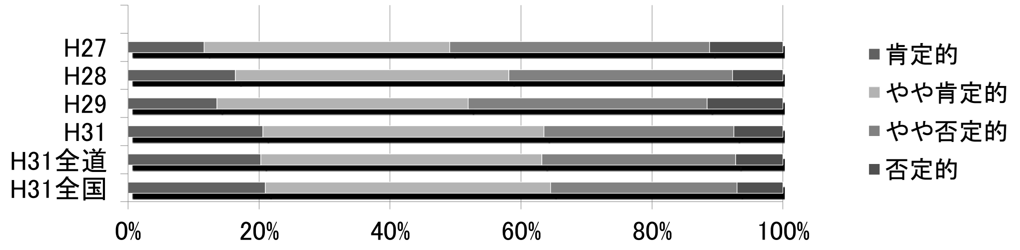
41 国語の授業で学習したことを、普段の生活の中で、話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用しようとしている。（新設問）



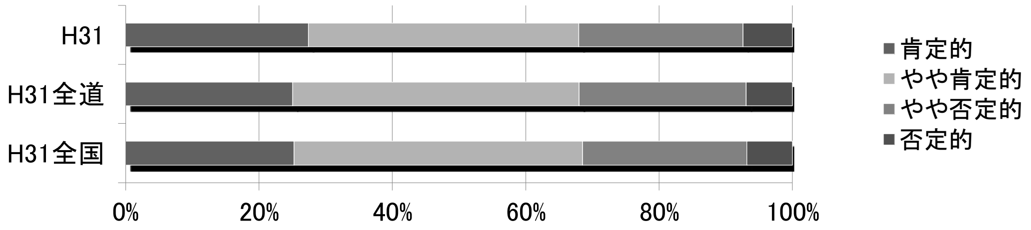
42 国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている。



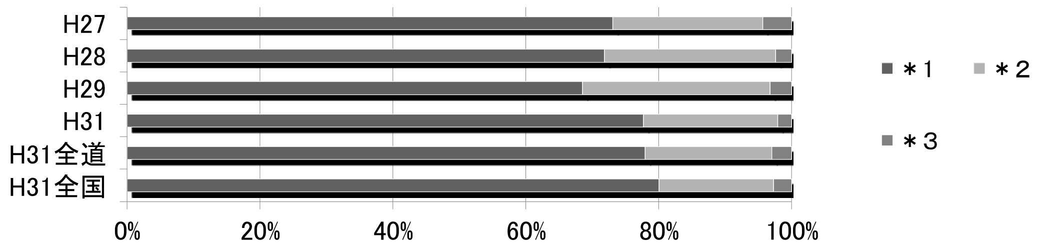
43 国語の授業で意見を発表するとき、うまく伝えるように話の組み立てを工夫している。



44 国語の授業で文章や資料を読むとき，目的に応じて，必要な語や文を見つけたり，文章や段落どうしの関係を考えたりしながら読んでいる。（新設問）



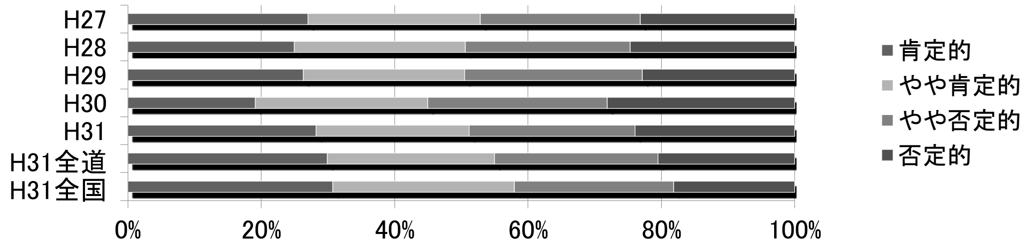
45 今回の国語の問題について、文章を書く問題でどのように回答したか
＊１：全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した。
＊２：書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中で諦めたりしたものがあった。
＊３：書く問題は全く回答しなかった。



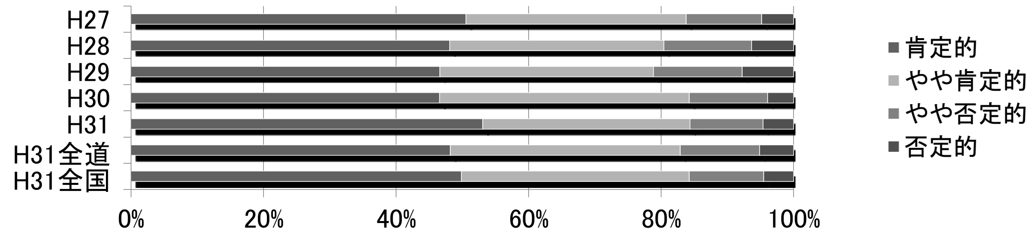
学習に対する興味・関心等（数学）

【考察】「数学の勉強は大切である」と回答した割合は８０％を超えているが、「数学の授業の内容がよく分かる」と回答した割合が７０％を下回っている。数学の日常的な授業において、「できた」「わかった」を実感させ、生徒自身に達成感を感じさせる振り返りの充実が必要である。

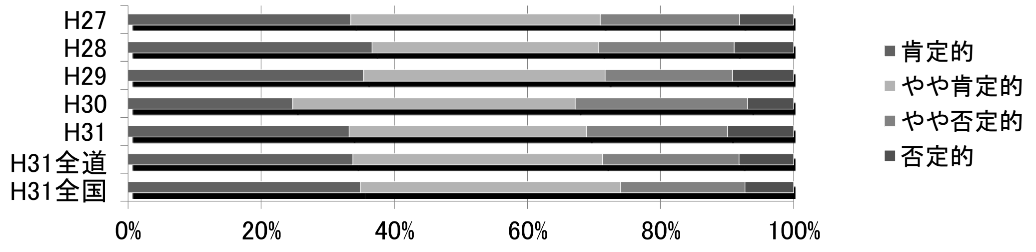
49 数学の勉強は好き。



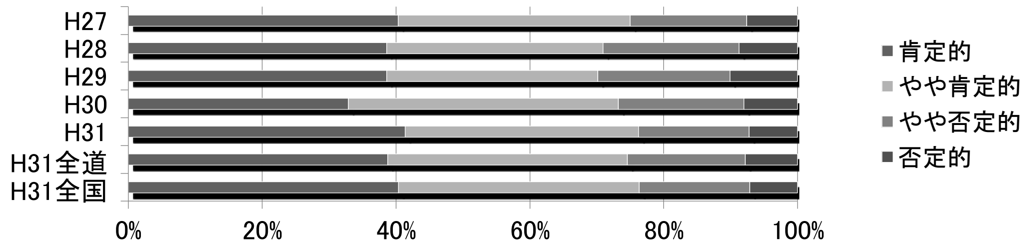
50 数学の勉強は大切だと思う。



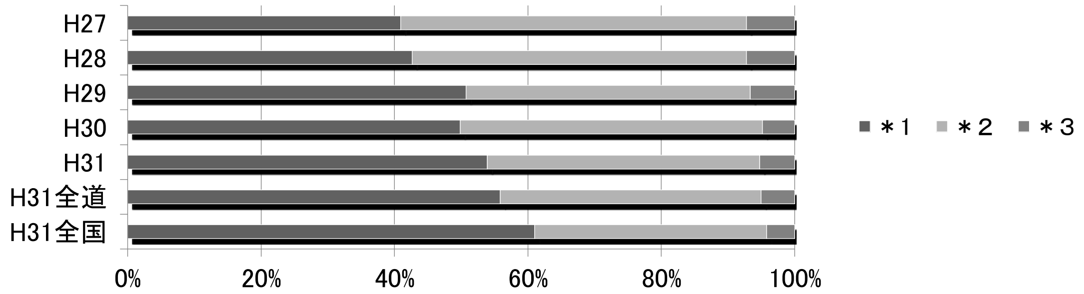
51 数学の授業の内容はよく分かる。



52 数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。



53 今回の算数の問題について、言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題でどのように回答したか。
＊１：全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した。
＊２：書く問題で解答しなかったり、解答を書くことを途中で諦めたりしたものがあった。
＊３：書く問題は全く回答しなかった。

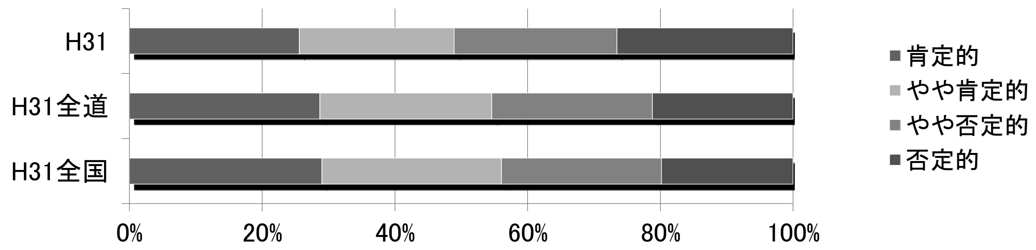


学習に対する興味・関心等（英語）

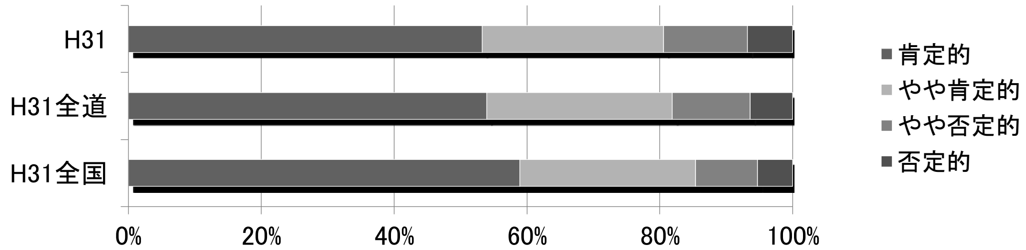
※英語に関する項目は全て新設問

【考察】　「英語の授業で自分の考えや気持ちなどを英語で伝えあう活動が行われていた」と回答した割合が約６０％であった。英語の授業において、言語活動を通じて自分の考えや気持ちを表現する場面を取り入れる必要がある。

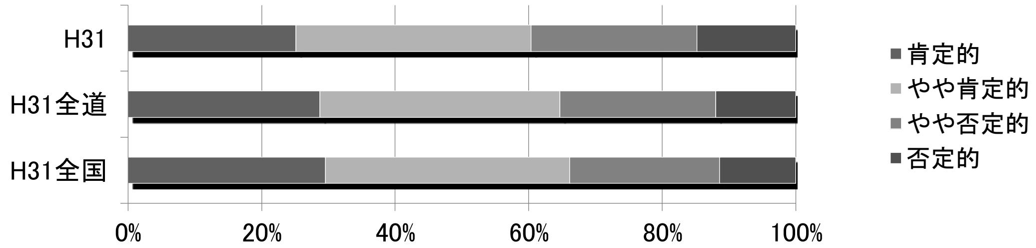
54 英語の勉強は好き。



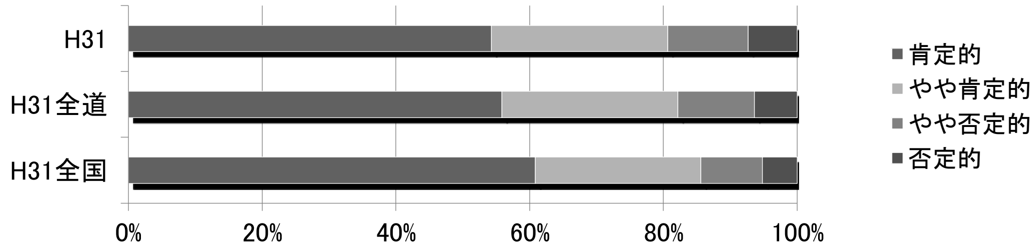
55 英語の勉強は大切だ。



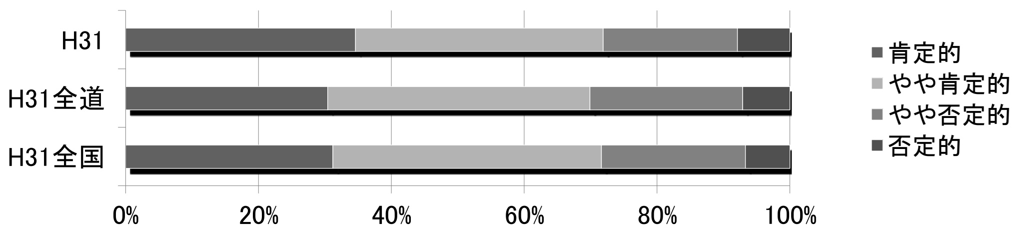
56 英語の授業の内容はよく分かる。



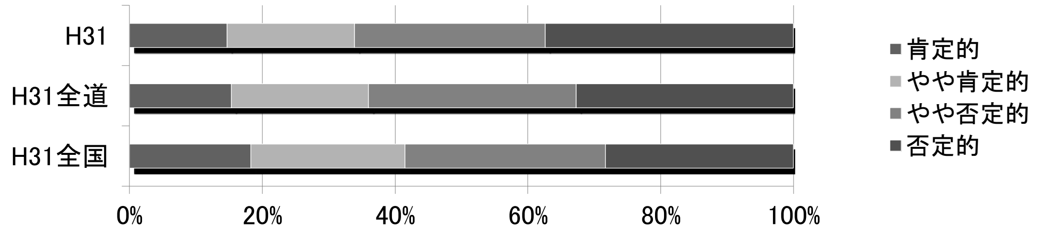
57 英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う。



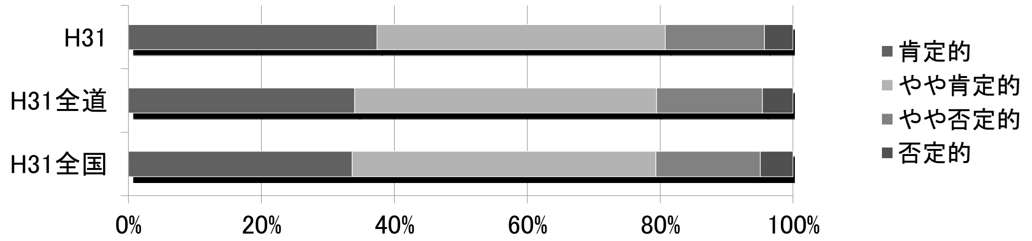
58 学校の授業以外で英語を使う機会が十分にあった。



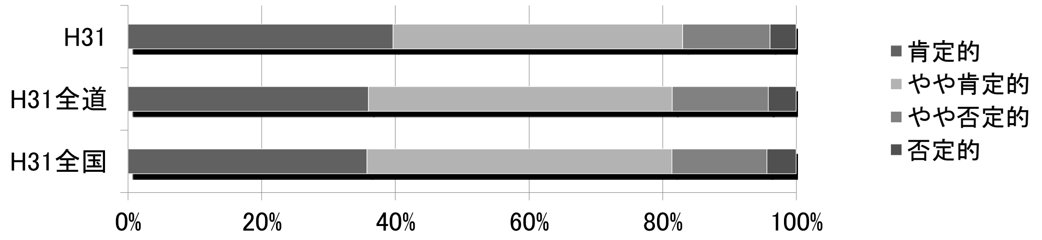
59 将来、積極的に英語を使う生活をしたり職業に就いたりしたい。



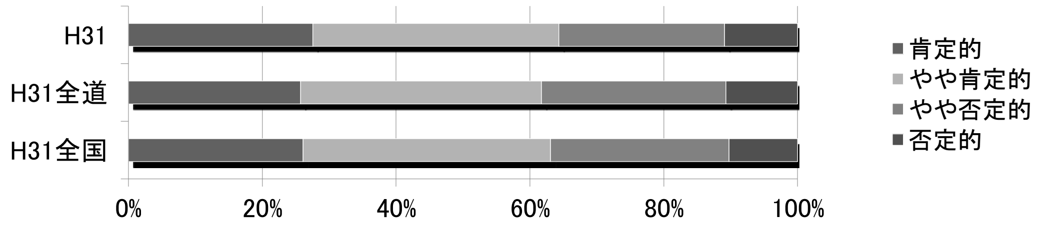
60 １，２年生のときの授業では、英語を聞いて概要や要点をとらえる活動が行われていた。



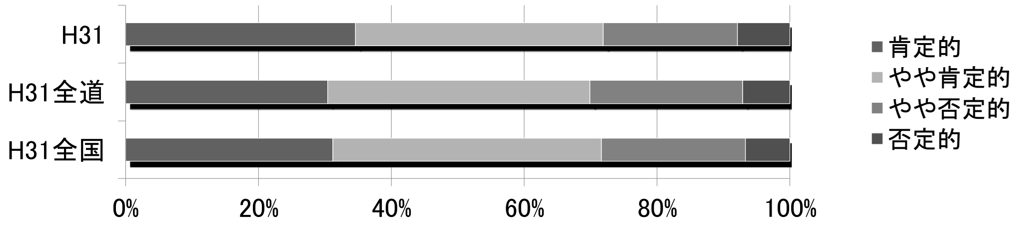
61 １，２年生のときの授業では、英語を読んで概要や要点をとらえる活動が行われていた。



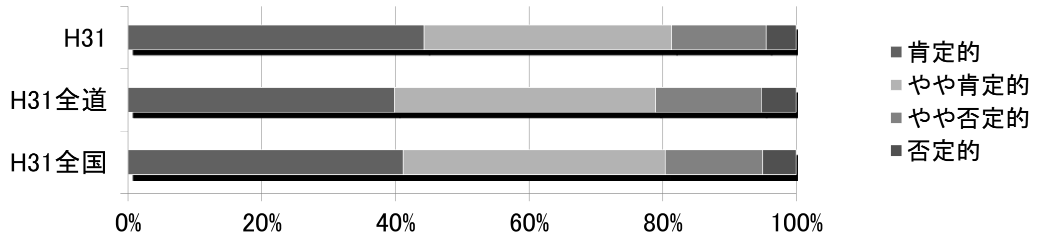
62 １，２年生のときの授業では、原稿などの準備をすることなく、自分の考えや気持ちなどを英語で伝えあう活動が行われていた。



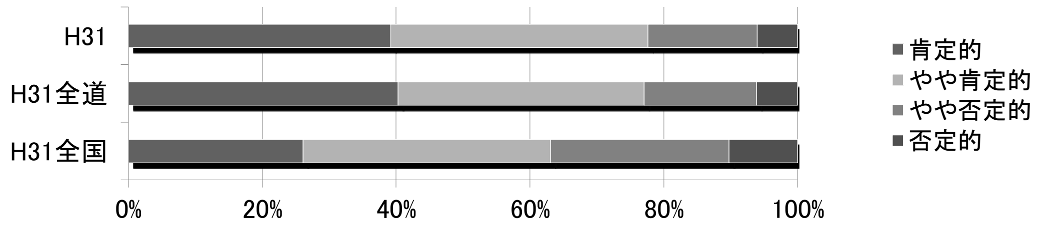
63 １，２年生のときの授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていた。



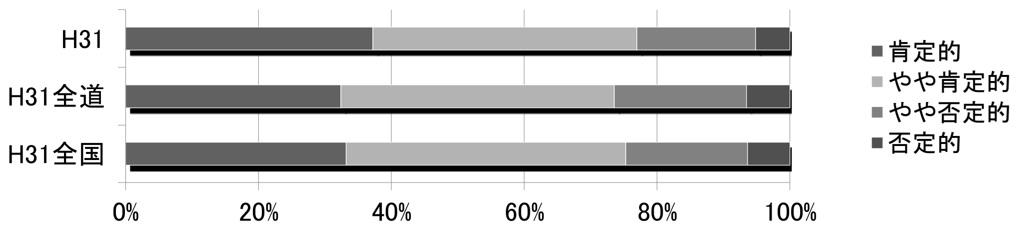
64 １，２年生のときの授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていた。



65 １，２年生のときの授業では、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答をしたり意見を述べたりする活動が行われていた。



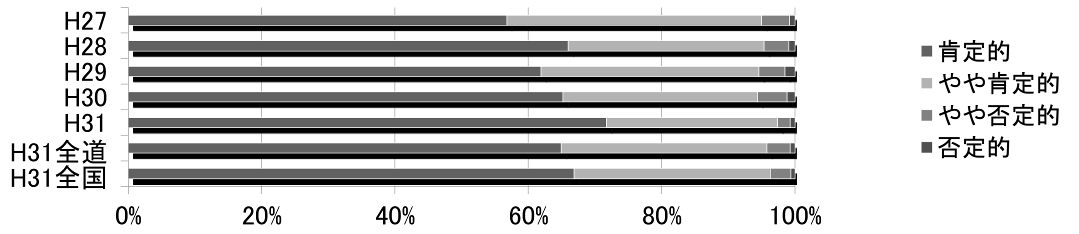
66 １，２年生のときの授業では、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動が行われていた。



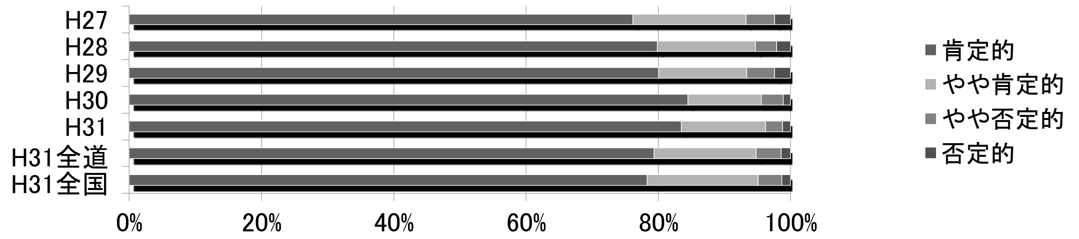
規範意識・自己有用感

【考察】「先生がよいところを認めてくれていると思う」と回答した割合が全国平均を上回っている。一方で、「自分にはよいところがあると思う」と回答した割合が全国平均を下回っている。日常的な授業や、学校行事等で一人一人が活躍する場面を設定するなど、自己肯定感を育む取組を継続していくことが必要である。

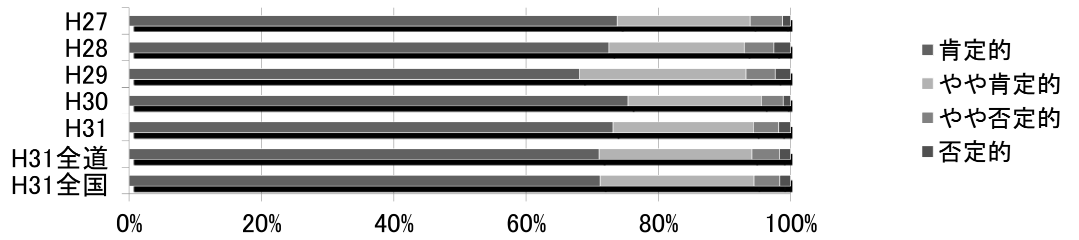
13 学校の規則を守っている。



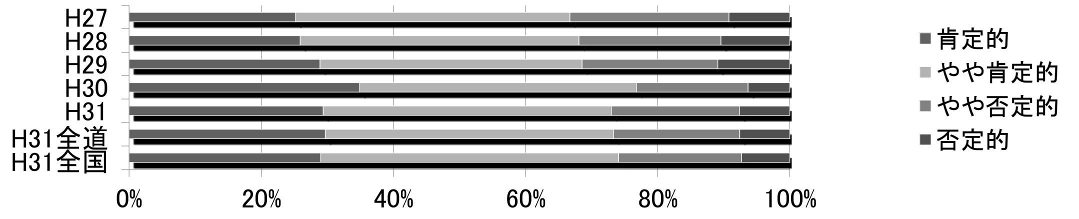
15 いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う。



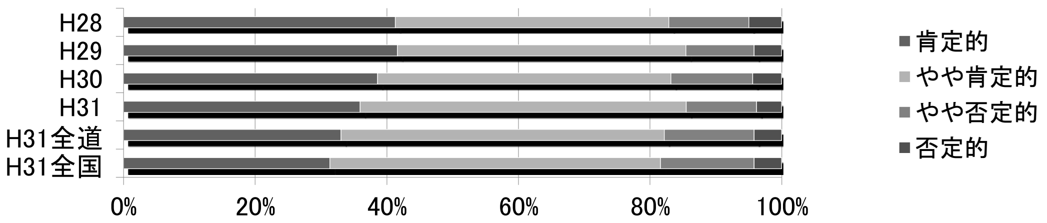
16 人の役に立つ人間になりたいと思う。



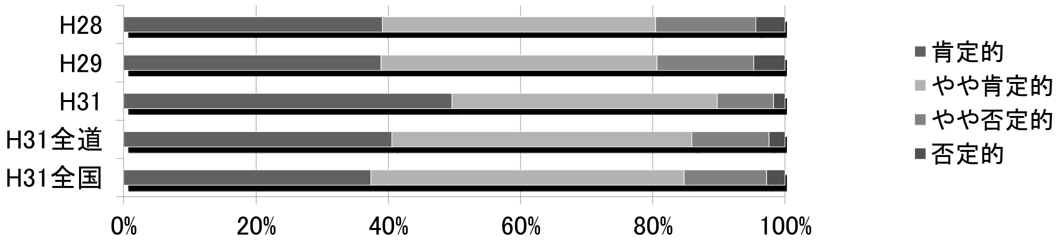
5 自分には、よいところがあると思う。



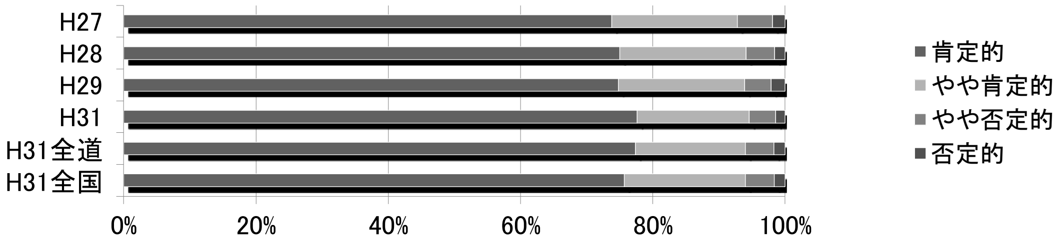
6 先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思う。



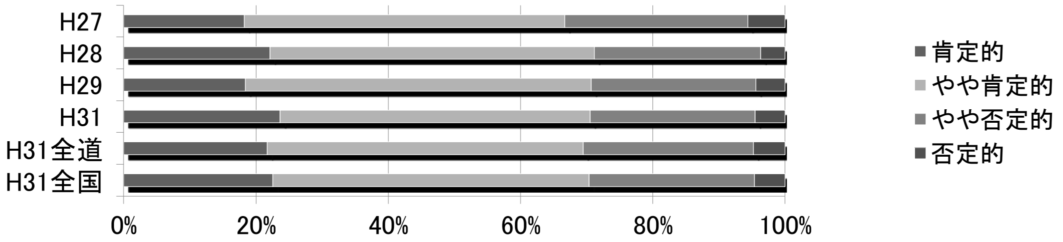
41 先生は、授業やテストで間違えたところや，理解していないところについて、分かるまで教えてくれる。



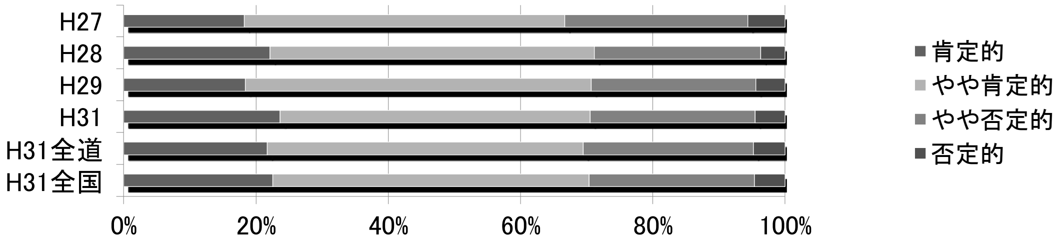
9 ものごとを最後までやりとげて、うれしかったことがある。



10 難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦している。



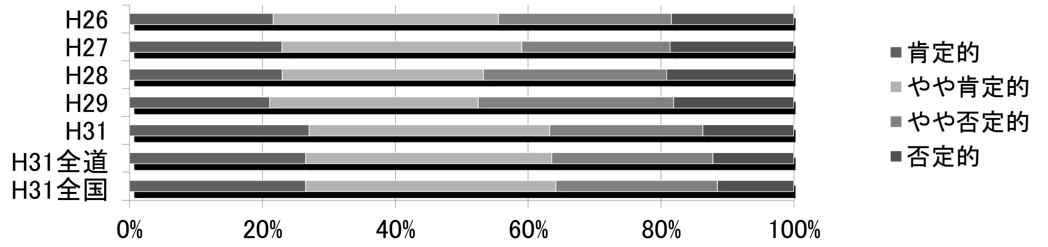
8 将来の夢や目標をもっている。



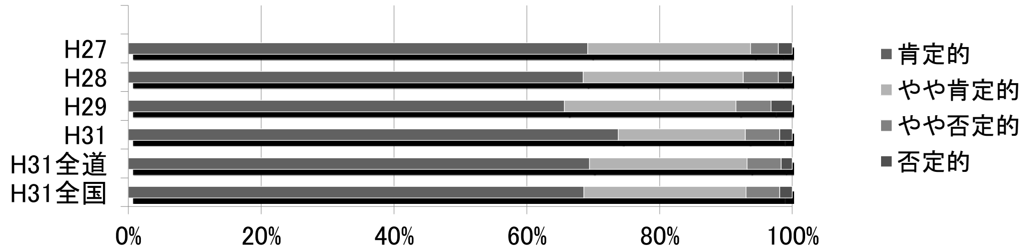
生活習慣・学習習慣

【考察】　１日あたりの家庭学習の時間が、２時間以上の割合が全国平均を下回っている。家庭学習の啓発を行い、基本的な学習習慣を確立する必要がある。学校図書館や地域の図書館を利用する割合が低い状態であるため、学校において図書館を活用する授業を行うなど、図書館の利用を促進する必要がある。

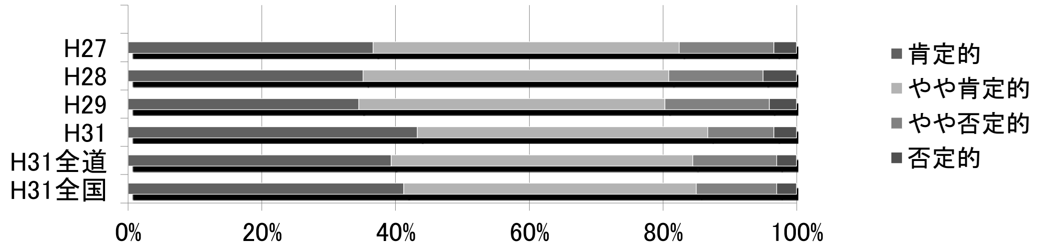
1 朝食を毎日食べている。



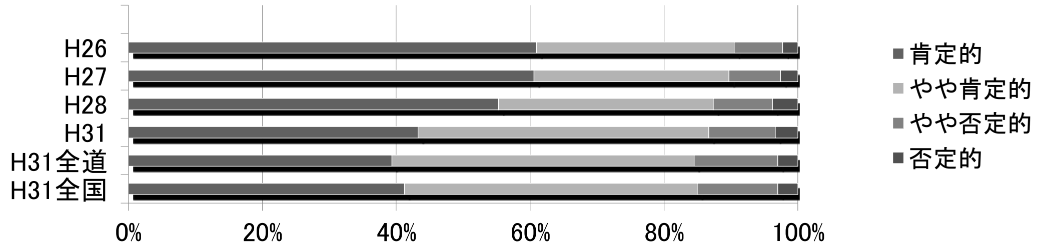
2 毎日、同じくらいの時刻に寝ている。



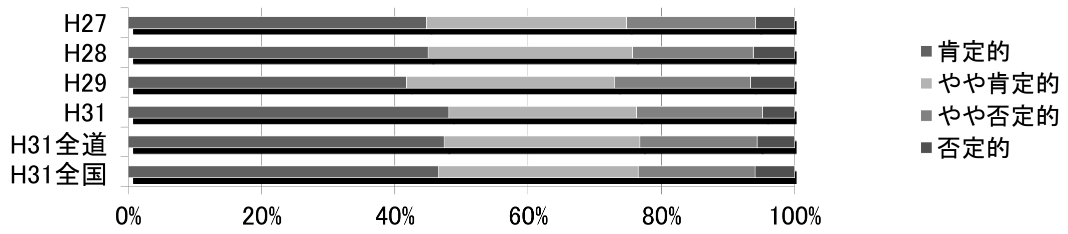
3 毎日、同じくらいの時刻に起きている。



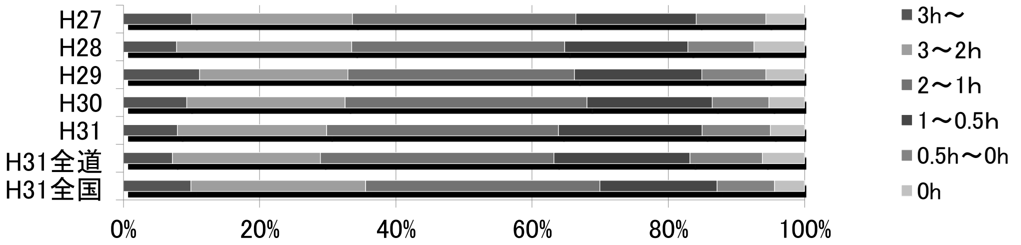
17 自分で計画を立てて勉強している。



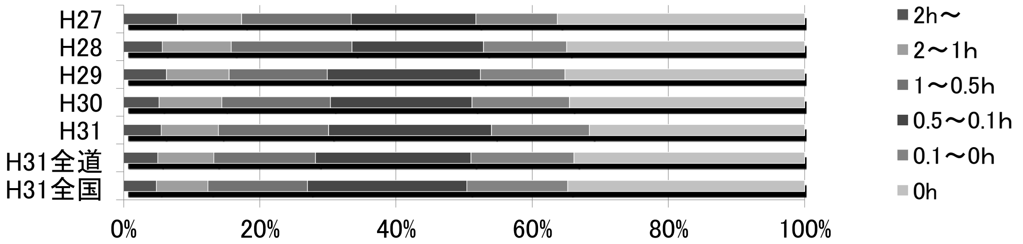
4 家の人と学校での出来事について話をしている。



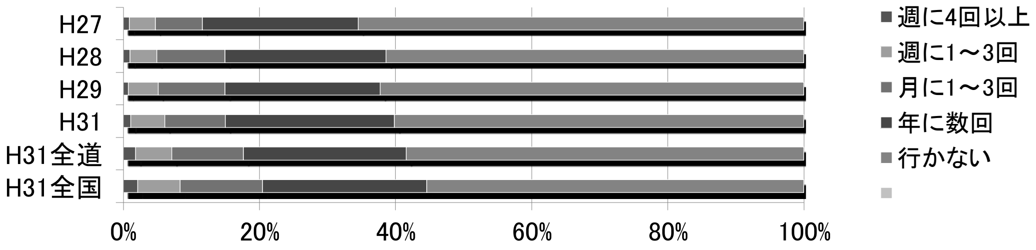
18 普段(月～金)、学校の授業時間以外の1日当たりの学習時間。



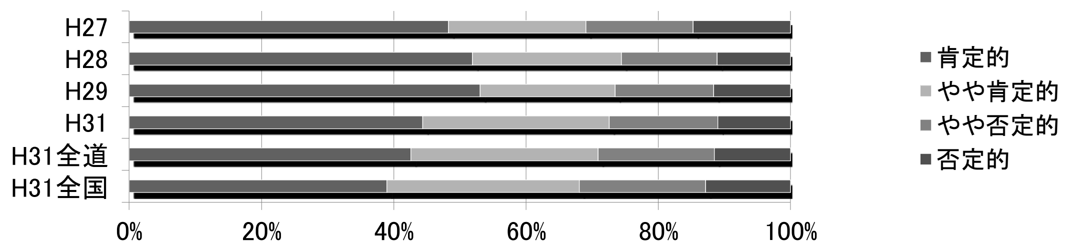
19 普段(月～金)、家や図書館における1日あたりの読書時間。



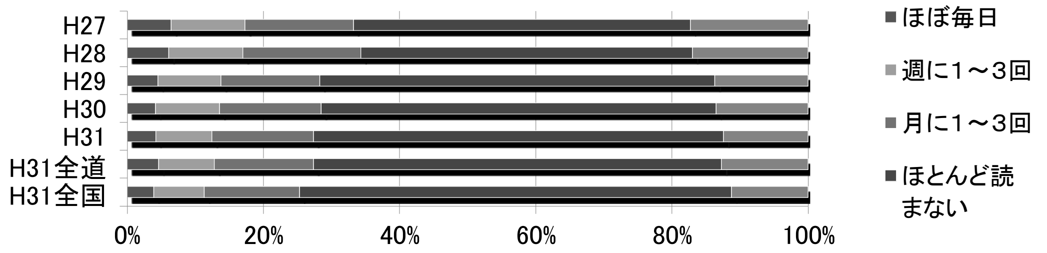
20 本を借りたり読んだりするために学校図書館や地域の図書館を利用する割合。



21 読書は好き。



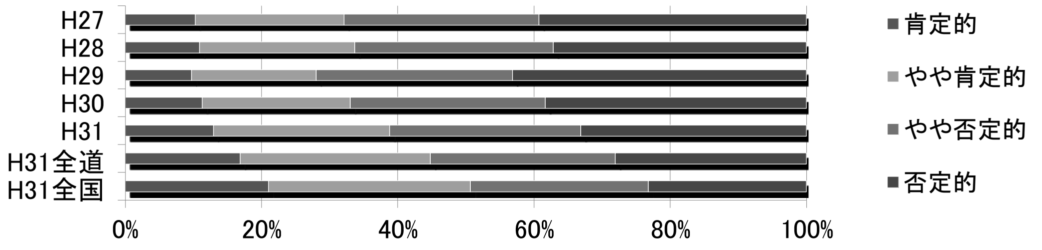
22 新聞を読んでいる。



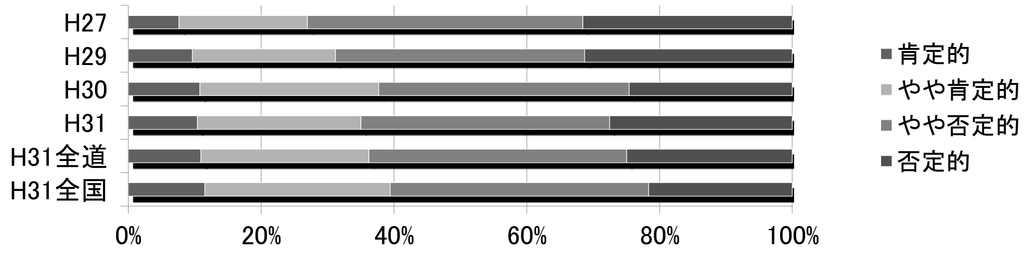
地域や社会、外国の文化への関心

【考察】　「地域の行事に参加している」と回答した割合が、全国平均を下回っている。社会科や道徳科、総合的な学習の時間等を通じて、郷土の教育の充実を図る必要がある。「地域や社会をよくするために何をすべきか考えたことがある」と回答した割合も全国平均を下回っているため、地域社会に対して自分ができることを考える場面の設定が必要である。

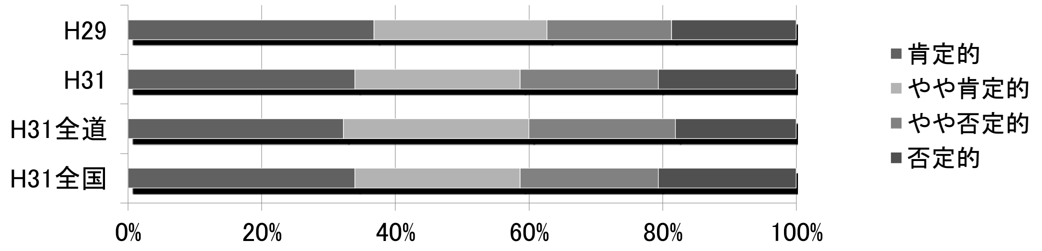
23 今住んでいる地域の行事に参加している。



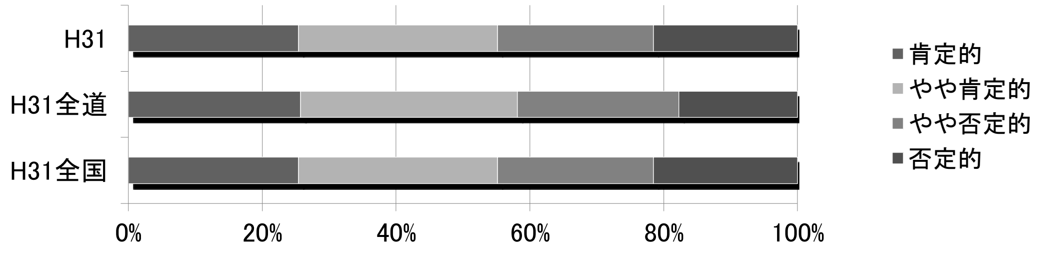
24 地域や社会をよくするために何をすべきか考えたことがある。



25 外国の人と友達になったり、外国のことについてもっと知ったりしたい。



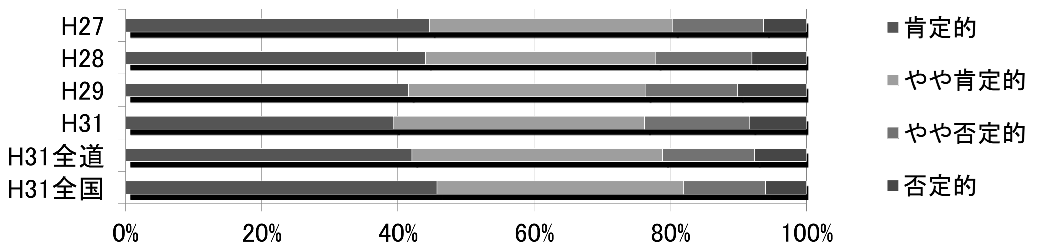
26 日本や自分が住んでいる地域のことについて、外国の人にもっと知ってもらいたい。（新設問）



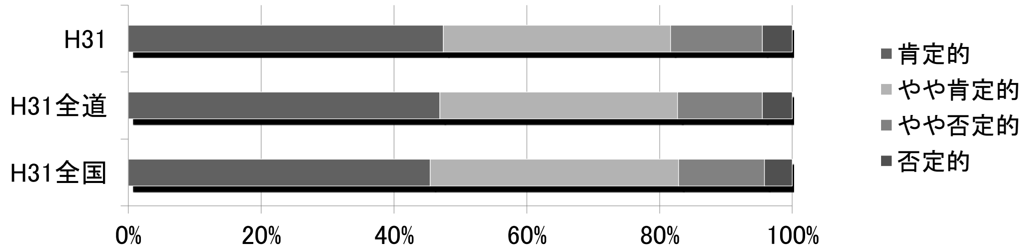
学校生活

【考察】「学級では、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思う」割合が全校平均を上回っている。学級活動等で、生徒同士がお互いの意見を出し合って物事を決めていることが分かる。一方で、「話し合う活動を通じて、考えを深めたり広げたりすることができている」と回答した割合が全国平均を下回っており、自分の考えの深まりや広がりについて振り返って実感する場面の設定が必要である。

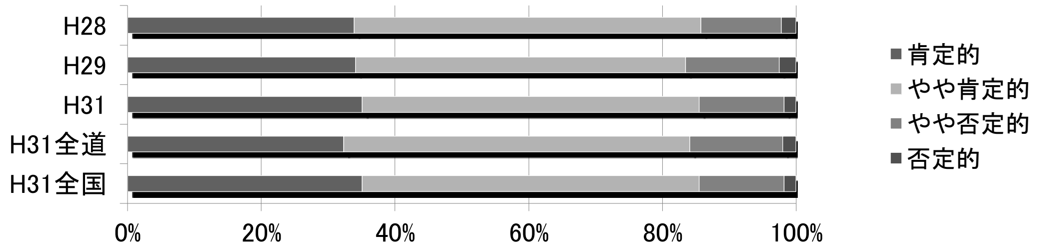
12 学校に行くのは楽しい。



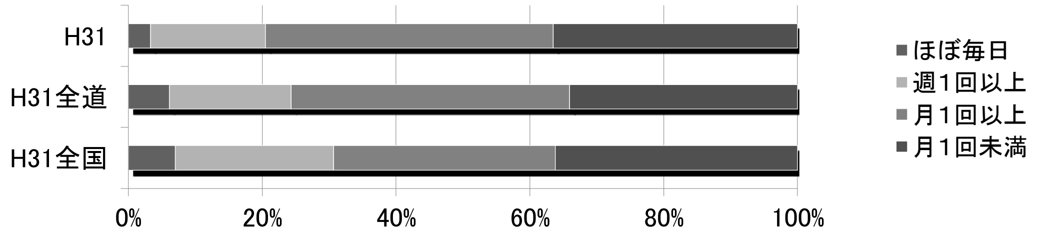
11 学級みんなで話し合って決めたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがある。



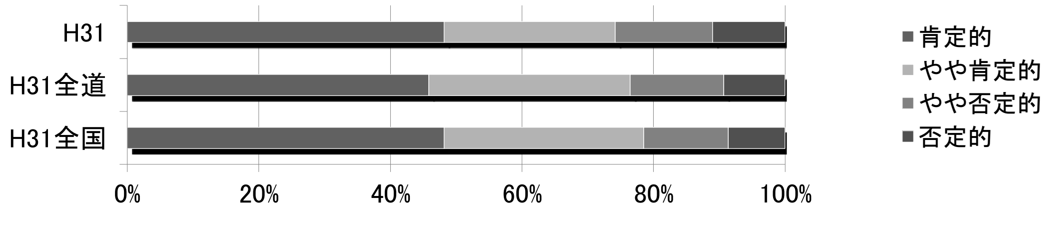
14 人が困っているときは、進んで助けている。



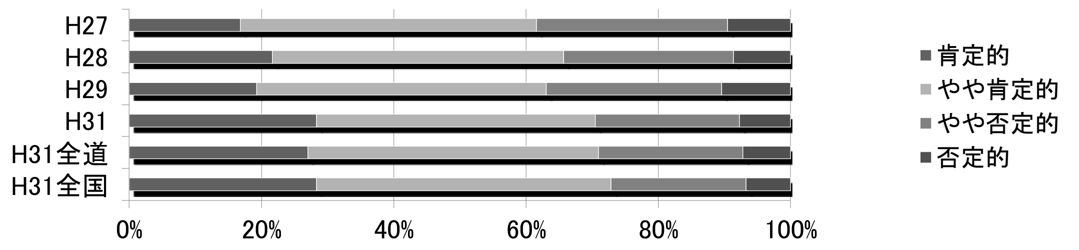
30 １，２年生までに受けた授業でコンピューターなどのICTを使用した割合。（新設問）



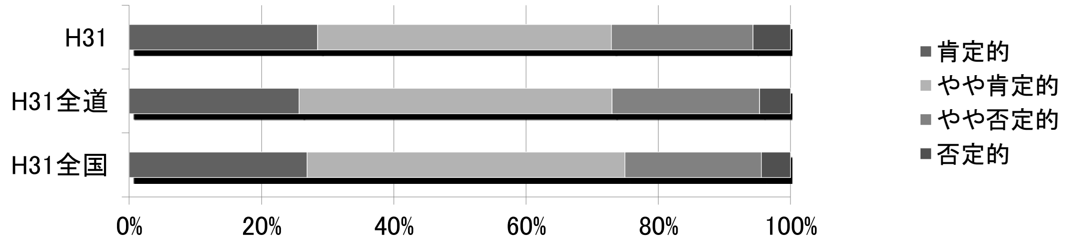
31 授業でICTをもっと活用したい。（新設問）



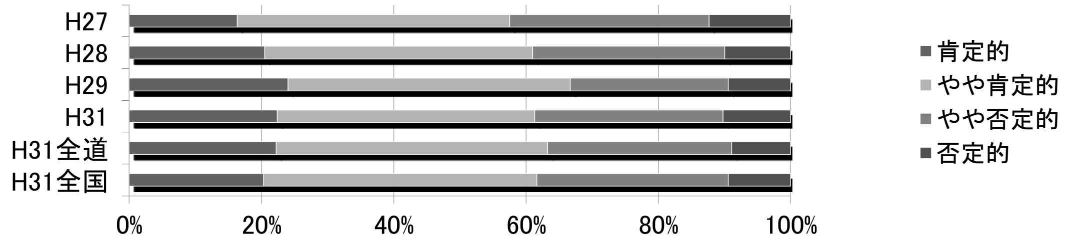
32 話し合う活動を通じて、考えを深めたり広げたりすることができている。



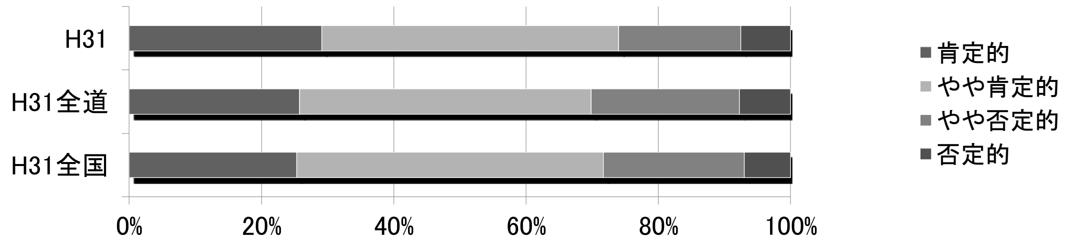
33 授業で学んだことを、ほかの学習に生かしている。（新設問）



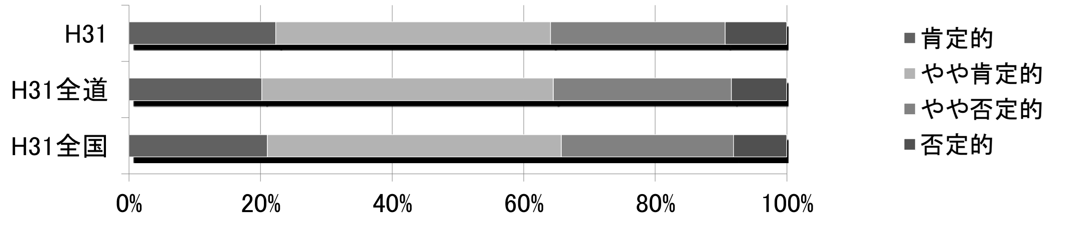
34 「総合的な学習の時間」に、自分で課題を立て、情報を整理して発表するなどをしている。



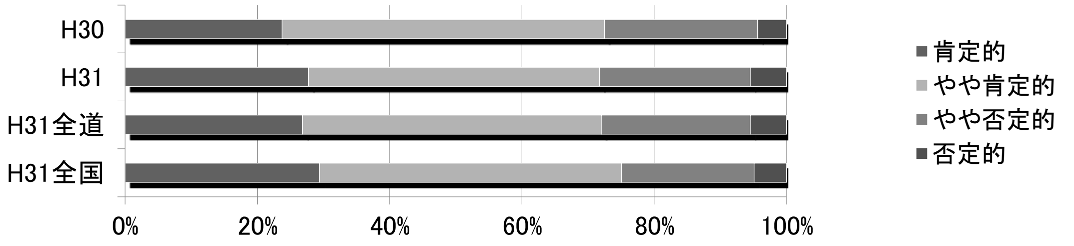
35 学級では、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思う。（新設問）



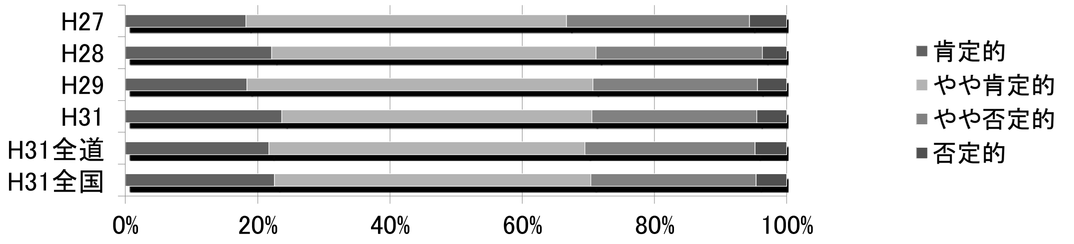
36 学級活動の話し合いを生かして、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる。（新設問）



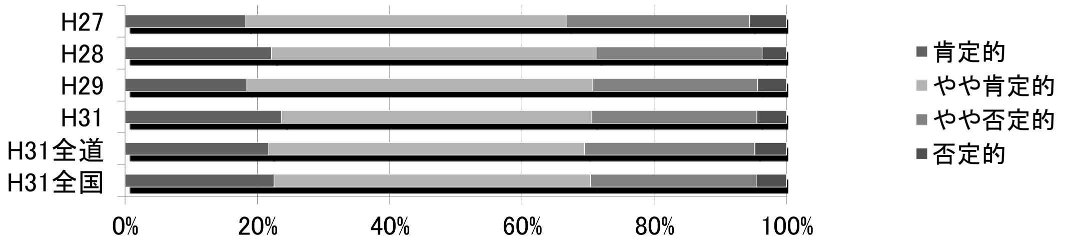
37 １，２年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた。



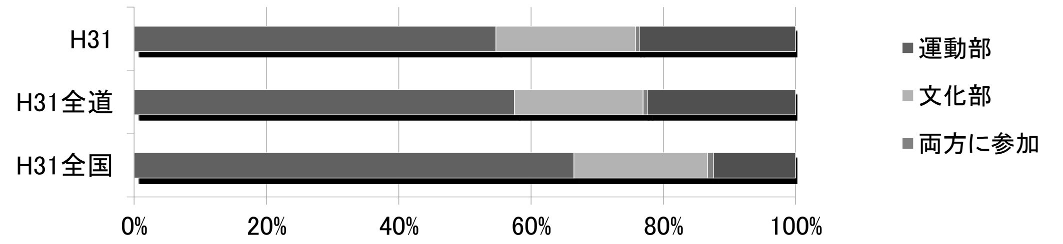
38 １，２年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組み立てなどを工夫して発表していた。



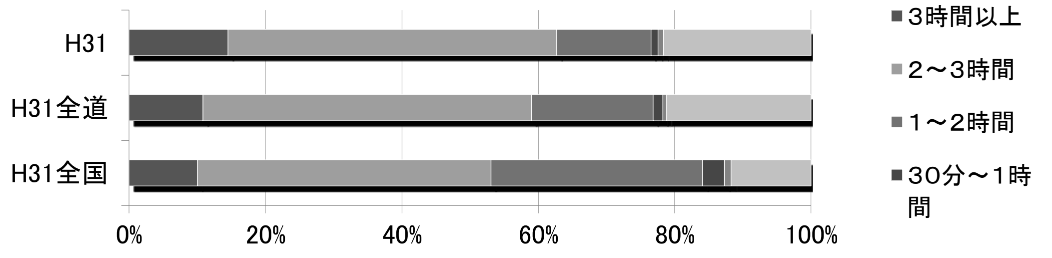
39 １，２年生のときに受けた道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいた。



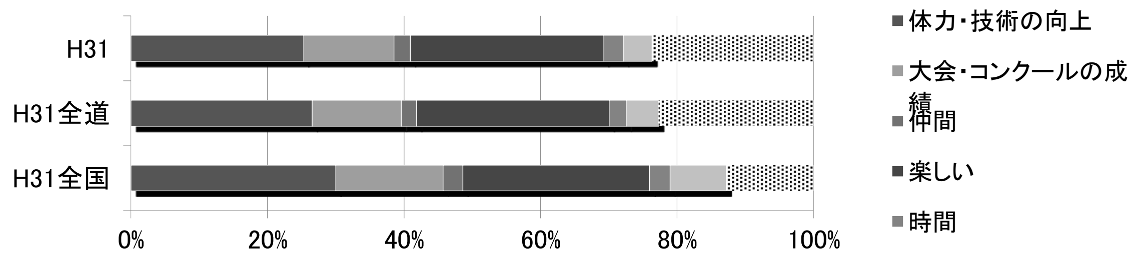
27 学校の部活動に参加している割合。



28 1日あたりの部活動の時間。

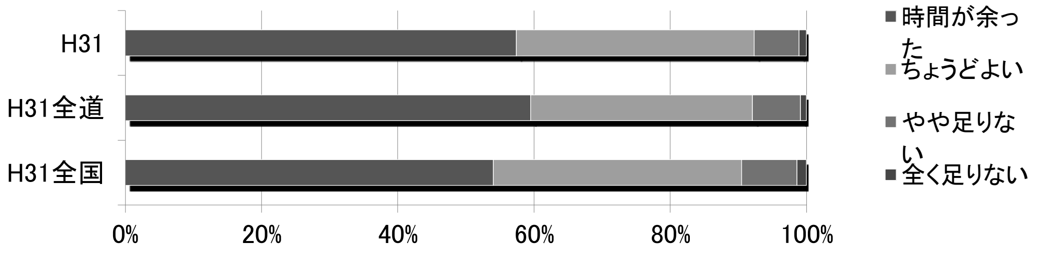


29 学校の部活動に参加する主な理由

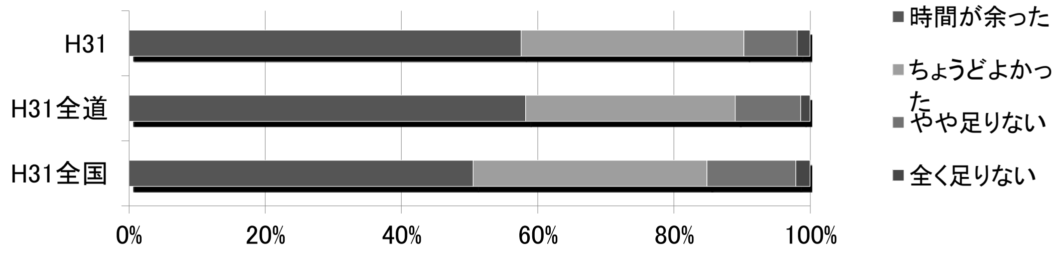


調査問題の解答時間

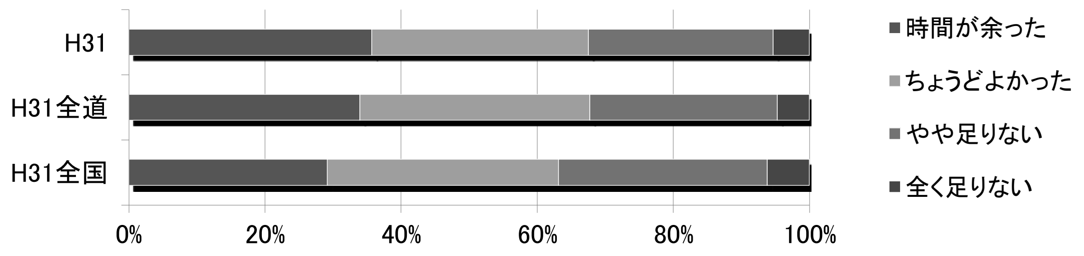
67 調査問題（国語）の解答時間は十分だった。



58 調査問題（数学）の解答時間は十分だった。



59 調査問題（英語）の解答時間は十分だった。



平成３１年度全国学力・学習状況調査学校質問紙調査の結果と考察

苫小牧市教育委員会

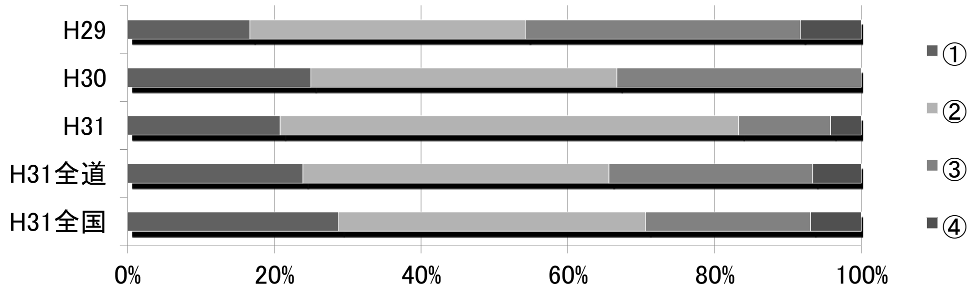
学力向上に向けた取組

〈小中連携〉

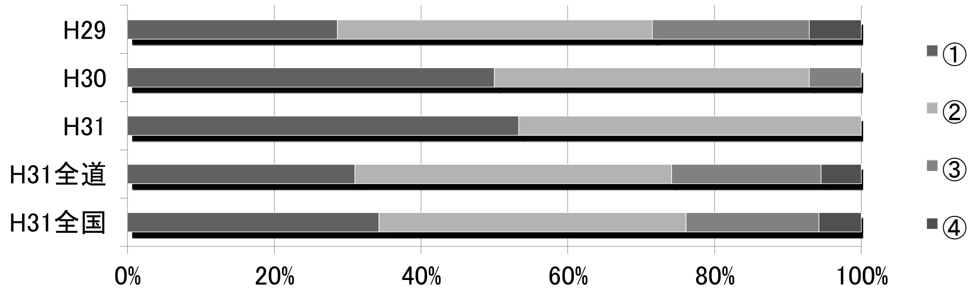
◆ 近隣等の中（小）学校と、授業研究を行うなど、合同で研修を行った。

①よく行った　②どちらかといえば行った　③あまり行っていない　④全く行っていない

【小学校】



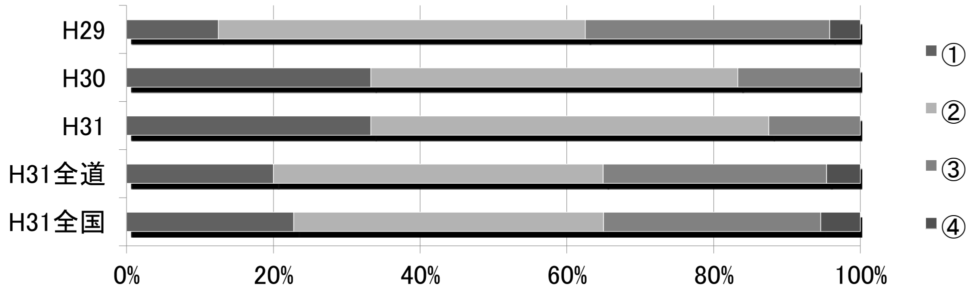
【中学校】



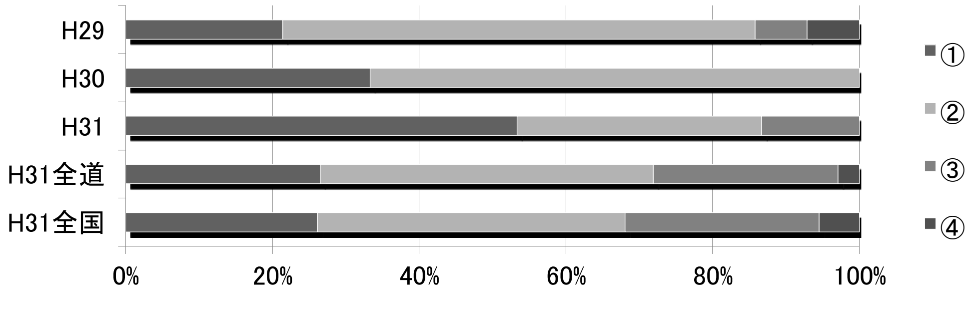
◆ 近隣等の中（小）学校と、教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組を行った。

①よく行った　②どちらかといえば行った　③あまり行っていない　④全く行っていない

【小学校】



【中学校】



【考察】

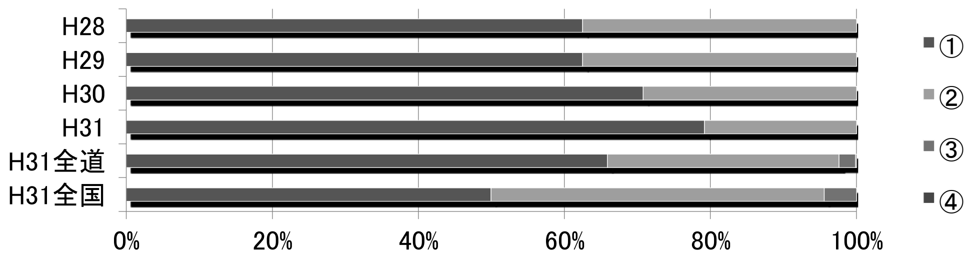
「教科の教育課程の接続や、教科に関する共通の目標設定など、教育課程に関する共通の取組」について、全国平均を大きく上回っている。特に中学校においては、実施率１００％となっている。また「授業研究等、合同研修の実施」についても全国平均を上回っている。各中学校区における学校教育力向上エリア会議の取組の成果がみられる。

〈家庭学習〉

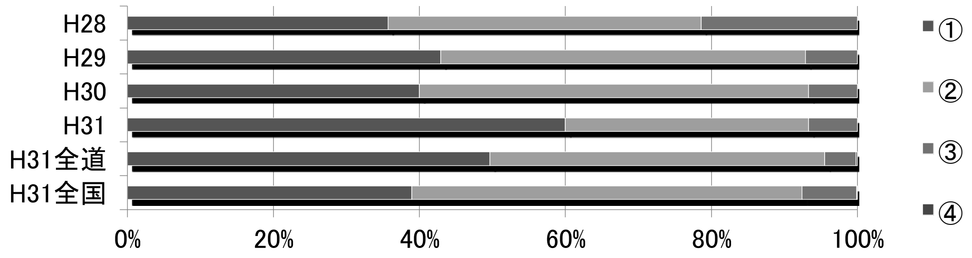
◆ 家庭学習の取組について、学習方法等を具体例を挙げながら教えた。

①よく行った　②どちらかといえば行った　③あまり行っていない　④全く行っていない

【小学校】



【中学校】



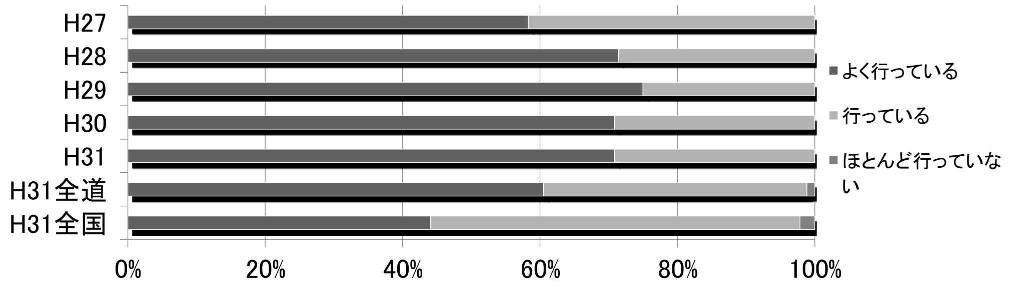
【考察】

小学校も中学校も、「家庭学習の取組について、学習方法等を具体例を挙げながら教えた」と回答した割合が、年々上昇しており、全国平均を上回っている。家庭に対して、学習習慣の定着を啓発する取組の成果がみられる。

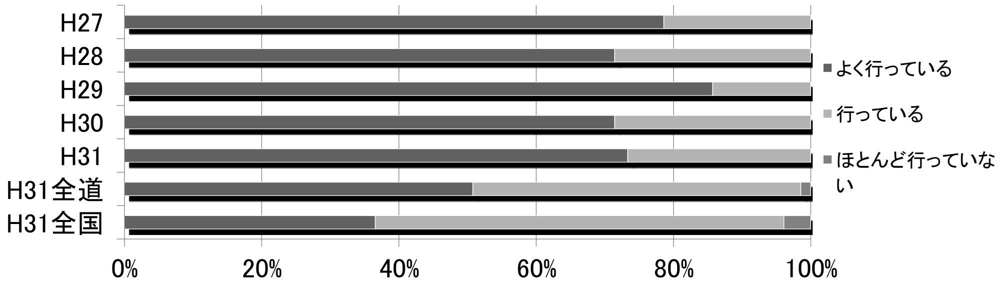
〈全国学力･学習状況調査の結果の活用〉

◆ 調査等の結果を学校全体で教育活動を改善するために活用した。

【小学校】



【中学校】



【考察】

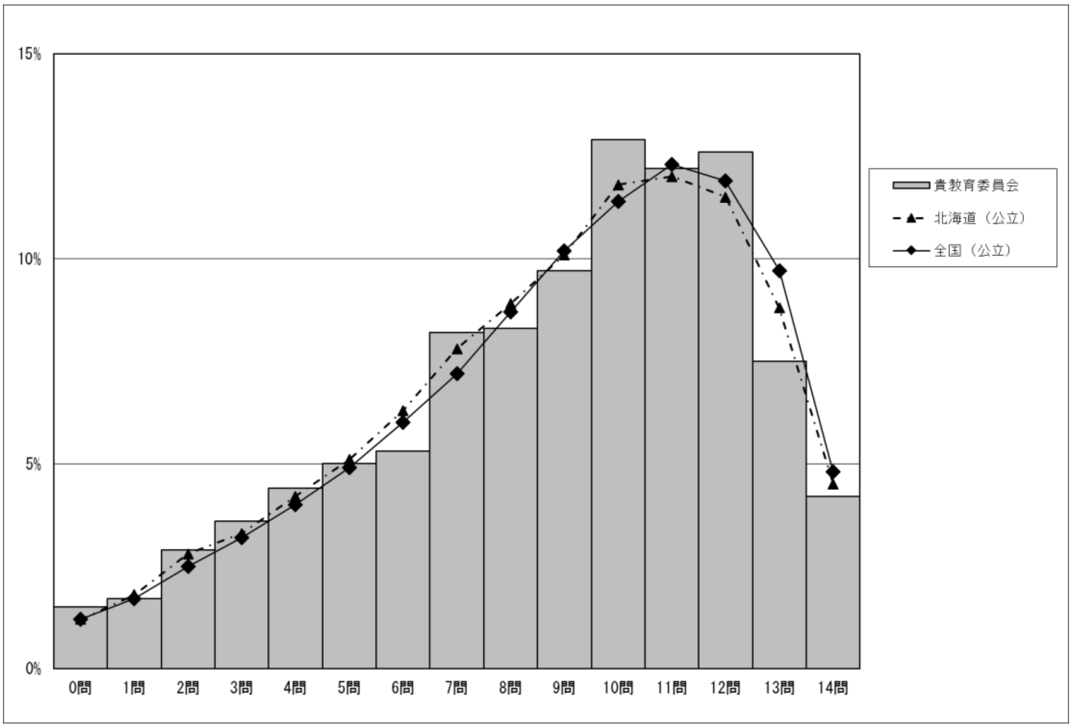
小・中学校とも、「よく行っている」または「行っている」と回答した割合が、全国平均を大きく上回っている。各学校で、調査結果を分析し、授業改善に反映させる体制が定着していることがうかがえる。

平成３１年度全国学力・学習状況調査 小学校調査

調査結果概況 ［国語］

苫小牧市教育委員会—児童

正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：割合）

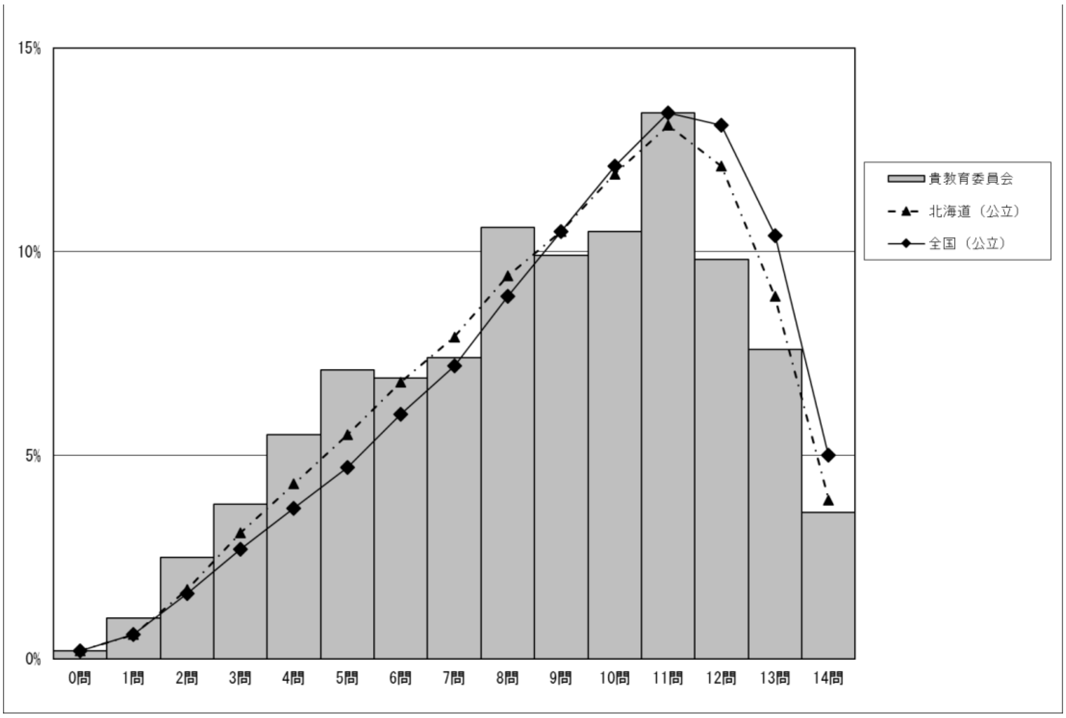


平成３１年度全国学力・学習状況調査 小学校調査

調査結果概況 ［算数］

苫小牧市教育委員会—児童

正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：割合）

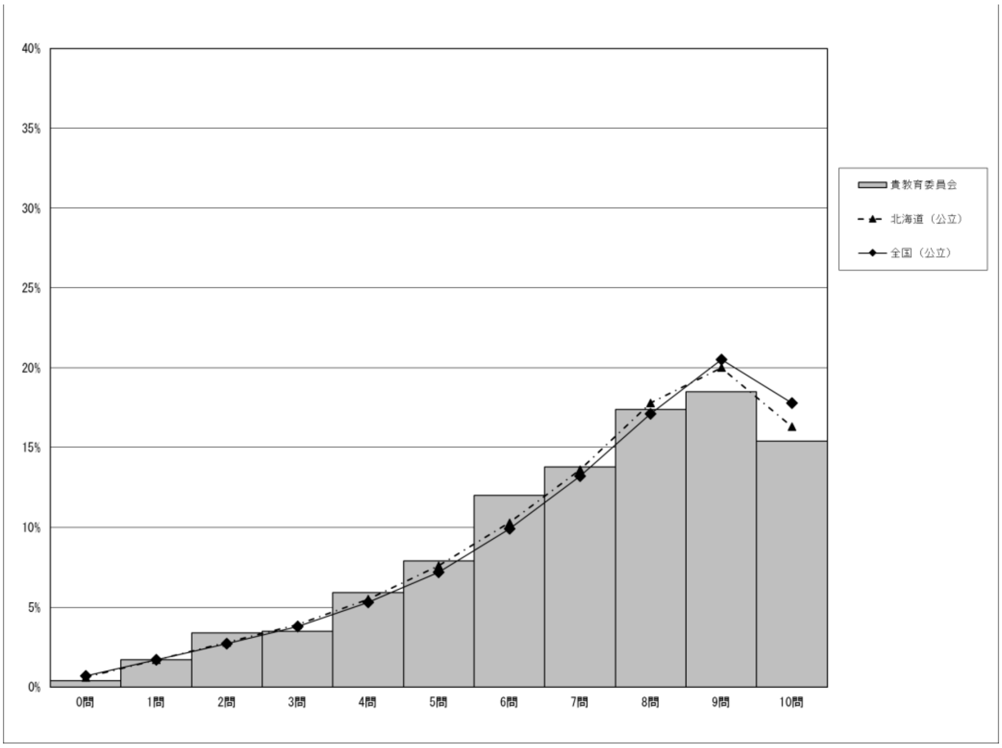


平成３１年度全国学力・学習状況調査　中学校調査

調査結果概況　[国語]

苫小牧市教育委員会—生徒

正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：割合）

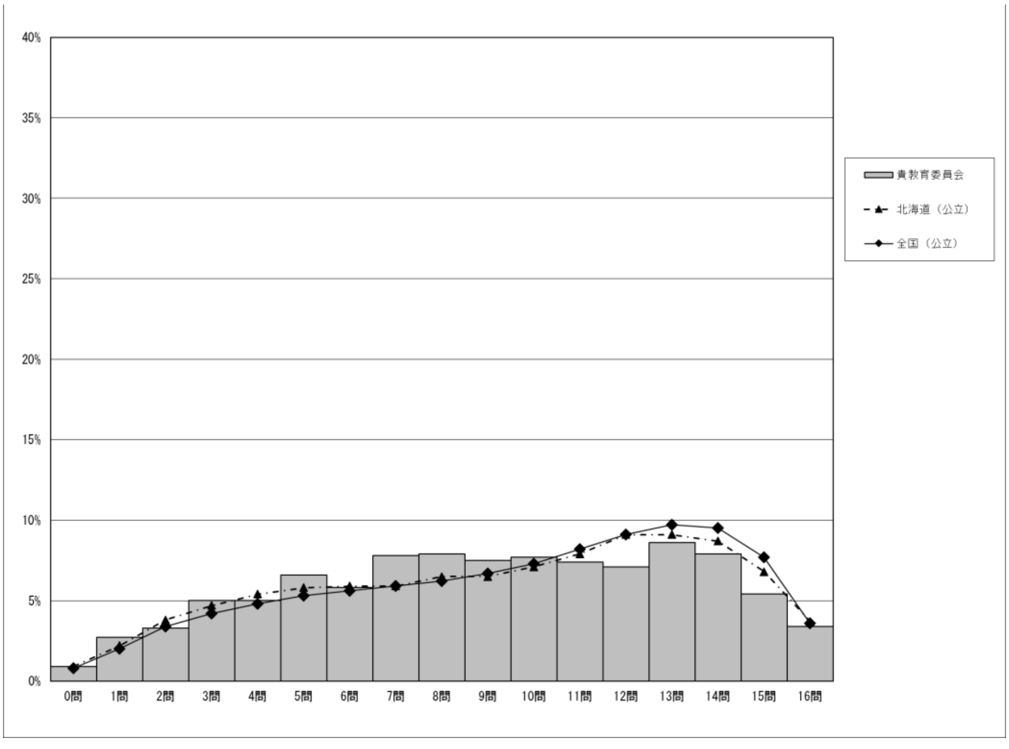


平成３１年度全国学力・学習状況調査　中学校調査

調査結果概況　[数学]

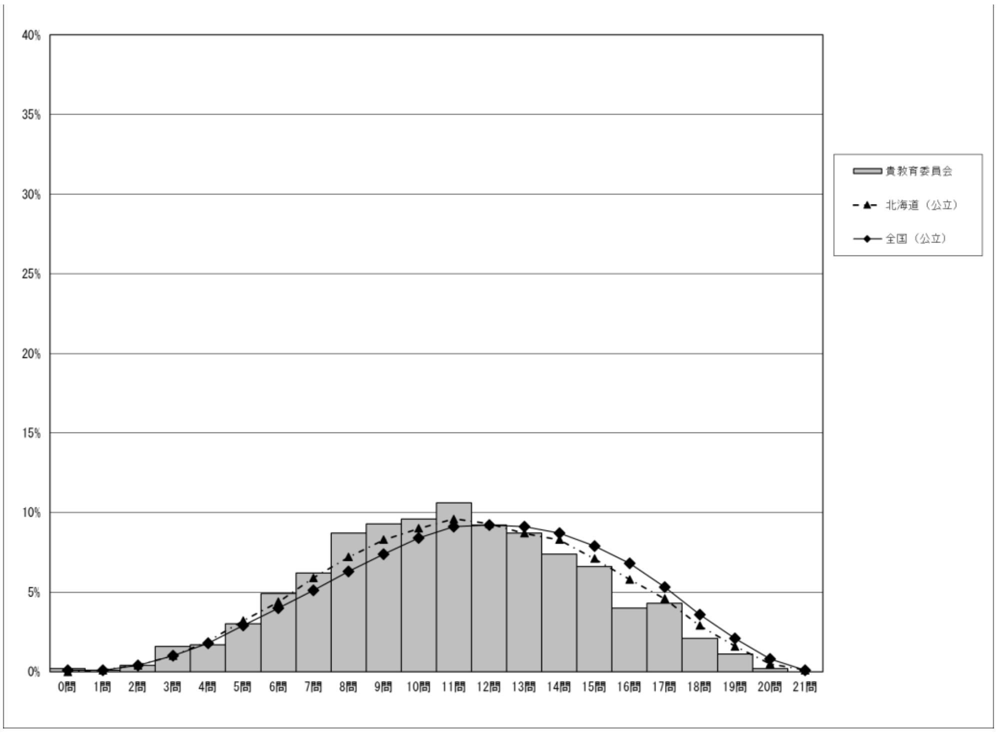
苫小牧市教育委員会—生徒

正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：割合）



平成３１年度全国学力・学習状況調査　中学校調査

調査結果概況　［英語］

苫小牧市教育委員会—生徒

正答数分布グラフ（横軸：正答数，縦軸：割合）